

# 地域福祉推進のプログラム

福祉のまちづくりの主体は住民という立場で、  
地域福祉推進のプログラムの推進を図ります。

< 推進のめやす >

第13回改訂版

令和4年2月





## ②<推進のめやす>本編

計画書第4章『地域福祉推進のプログラム』に位置づけられた本市の地域福祉を具体的に推進していくための46の取り組み毎に学区福祉委員会、宇治ボランティア活動センター、宇治市福祉サービス公社、宇治市社会福祉協議会、宇治市の順に事業を掲載しています。

### 評価について

#### (1) 目的

平成23年3月に策定した第2期宇治市地域福祉計画を進行管理していくにあたり、「地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>」に掲載している事業における成果と課題の整理を行うことを目的とし、行政が実施主体である事業について内部評価を行う。

#### (2) 評価の考え方

宇治市地域福祉計画に関連する事業の実施状況から、同計画に位置づけられた“具体的な取り組み”をどれくらい達成できたかを判断します。

#### (3) 評価指標

F (Finish)	事業の目的を達成したため終了した。
A	計画的に事業を実施しており、引き続き充実を図る。
B	事業は継続するが、新たな課題等への対応が必要。
C	ニーズを勘案し、事業の縮小、休廃止に向けた見直しが必要。
D	一時休止、保留などの事業。
- (ハイフン)	隔年等で実施するため、評価対象年度の実績がない。

実施主体・担当課	宇治市 地域福祉課	事業	前年度における 成果と実績を記載しています。	評価時点での今後3年間の見 込みを記載しています。
	<b>自</b> 地域福祉推進事業	宇治市地域福祉計画に基づき、福祉のまちづくりを進めるため、実施する各事業の進行管理を行う。また、住民主体の取組みを支援し、促進するために、出前講座を実施する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)
	第2期宇治市地域福祉計画の目的達成に向け、地域福祉推進委員会の議論を踏まえて計画に位置づけられた各事業の評価を行った。さらに、第3期宇治市地域福祉計画の策定に向けて、委員会を開催し、アンケート調査等について、議論を行った。今後、社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画との連携を図ることが課題である。  ・地域福祉推進委員会3回		・第3期計画策定 ・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会 5回 ・出前講座 1回	・第3期計画進行管理 ・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会 2回 ・出前講座 1回
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
	評価	評価に対する説明		
	<b>B</b>	第2期宇治市地域福祉計画についてこれまで行ってきた進行管理等を踏まえて、委員会での議論を行い、第3期宇治市地域福祉計画の策定に向けた検討ができた。 なお、出前講座については新型コロナウイルスの影響もあり、実施申し込みが0件であった。		

評価指標に基づく評価を記載しています。

評価に対する説明を記載しています。  
課題がある場合は課題を記載しています。

学区福祉委員会・宇治ボランティア活動センター・宇治市福祉サービス公社・宇治市社会福祉協議会 掲載事業一覧

目次

	実施主体	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進						
				(1)			(2)			(3)			(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	学区福祉委員会	介護予防普及啓発事業の実施	4	●															
2	学区福祉委員会	災害時体制の宇治市災害ボランティアセンターへの協力	17				●												
3	学区福祉委員会	こどもの見守り活動の実施	23							●			○						
4	学区福祉委員会	福祉バザーの開催	26									●							
5	学区福祉委員会	研修会の実施	26									●							
6	学区福祉委員会	広報紙作成研修会活動の実施	26									●						○	
7	学区福祉委員会	住民交流活動の実施	26									●							
8	学区福祉委員会	広野ふれあいまつりの開催	26									●	○						
9	学区福祉委員会	西小倉地区福祉まつりの開催	26									●	○						
10	学区福祉委員会	福祉委員の募集強化月間について	26									●							
11	学区福祉委員会	槇福まつりの開催	26									●	○						
12	学区福祉委員会	福祉サポーターの呼びかけ	26									●	○						
13	学区福祉委員会	北槇ランドゴルフの開催	26									●							
14	学区福祉委員会	伊勢田学区内懇談会の実施	26									●							
15	学区福祉委員会	小学生や中学生との交流	30									○	●						
16	学区福祉委員会	左義長等の交流会の開催	30									○	●						
17	学区福祉委員会	三世交代「夏まつり」の開催	30									○	●						
18	学区福祉委員会	学校農園による子どもたちへの農業指導	30										●						
19	学区福祉委員会	施設との交流	30										●						
20	学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への年賀状等による交流事業	30										●						
21	学区福祉委員会	子どもの居場所づくり事業への協力	30										●						
22	学区福祉委員会	withコロナプロジェクトへの参画	30										●						
23	学区福祉委員会	御蔵山ゆづ輪蔵ぶ「ありがとう切符(蔵)」への支援	32										○	●					
24	学区福祉委員会	各学区福祉委員会における広報紙発行	35									○						●	
25	学区福祉委員会	ジュニア和太鼓サークルの育成	38																
26	学区福祉委員会	高齢者施設への支援	38																
27	学区福祉委員会	障害者施設への支援活動	38																
28	学区福祉委員会	赤い羽根共同・歳末募金への協力活動	42																
29	学区福祉委員会	公園サロンの開催	46									○	○						
30	学区福祉委員会	福祉農園の運営	46																
31	学区福祉委員会	ふれあい茶店の開催	46									○							
32	学区福祉委員会	ふれあいサロンの開催及び支援	46																
33	学区福祉委員会	敬老のつどい開催	48																
34	学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への訪問活動	49																
35	学区福祉委員会	一人暮らし高齢者の見守り訪問活動	49																
36	学区福祉委員会	高齢者見守り活動の強化	49																
37	学区福祉委員会	歳末ふれあい事業の実施	49																
38	学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への給配食サービス	49																
39	学区福祉委員会	「命のカプセル」の配布・訪問活動の強化	49																
40	学区福祉委員会	サロン連絡会の開催	53																
41	宇治ボランティア活動センター	ボランティアマッチングサロン	28										●				○		
42	宇治ボランティア活動センター	ボランティアの発掘	28										●						
43	宇治ボランティア活動センター	個人ボランティア等の特技を活かした、市域での支え合い活動創設にむけた協議	28										●						
44	宇治ボランティア活動センター	個人登録者へのアンケート実施と関連シンポジウムの開催(市社協と共催)	28										●						
45	宇治ボランティア活動センター	宇治ボランティア活動センター運営委員研修の開催	33														●		
46	宇治ボランティア活動センター	ボランティア(登録)団体への活動費等の助成と機材貸出し	33														●		
47	宇治ボランティア活動センター	宇治ボランティア活動センターによるボランティア活動の啓発(広報紙パートナー発行等)	35															●	



■ 目 次

	実施主体	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進						
				(1)		(2)			(3)		(4)		(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
48	宇治ボランティア活動センター	ボランティアフェスティバルの開催	35															●	
49	宇治ボランティア活動センター	マスコットキャラクター(ゆるキャラ)の運用	35															●	
50	宇治ボランティア活動センター	京都文教大学ボランティア演習の学生受入れ	35															●	
51	宇治ボランティア活動センター	宇治福祉まつりへの参加	35															●	
52	宇治ボランティア活動センター	登録団体活動紹介冊子作成	35															●	
53	宇治ボランティア活動センター	イオン黄色いレシートキャンペーンへの参加	43																
54	宇治ボランティア活動センター	「バリアフリー映画」の上映	44																
55	宇治ボランティア活動センター	おもいの駅伝の開催	44																
56	宇治ボランティア活動センター	ボランティア活動センター登録サークル、個人交流会の開催	53																
57	宇治市福祉サービス公社	介護予防事業の実施	4		●														
58	宇治市福祉サービス公社	介護予防サポートセンターを主体とした各種介護予防事業等の実施と情報提供	12			●													
59	宇治市福祉サービス公社	健康増進に向けた各種教室や研修の実施	12			●													
60	宇治市福祉サービス公社	市民向け各種講座、支援活動の実施	15				●												
61	宇治市福祉サービス公社	地域に根ざす拠点としての、地域福祉センターの活用	26									●							
62	宇治市福祉サービス公社	通所介護施設における体験実習やボランティアの受け入れ、介護予防事業におけるボランティアの受け入れ、ほほえみ介護塾、各種市民向け研修の開催	28										●						
63	宇治市福祉サービス公社	通所介護での世代間交流イベントの実施	30										●						
64	宇治市福祉サービス公社	介護体験の受け入れ	31											●					
65	宇治市福祉サービス公社	高齢者支援システムとしての生涯学習(生きがいづくり)の企画実施	33															●	
66	宇治市福祉サービス公社	福祉人材研修事業の受託や介護員養成講座(介護職員初任者研修課程)の実施	33															●	
67	宇治市福祉サービス公社	福祉事業者・介護支援専門員向け研修の実施	33															●	
68	宇治市福祉サービス公社	地域支援活動等を目的としたNPO法人等の立ち上げ支援	33															●	
69	宇治市福祉サービス公社	在宅保健サービスについての知識の普及・啓発事業	38																
70	宇治市福祉サービス公社	地域団体等との連携・協力に積極的に関わる	38																
71	宇治市福祉サービス公社	地域福祉センター管理運営事業	39																
72	宇治市福祉サービス公社	共同・歳末募金への協力活動事業	42																
73	宇治市福祉サービス公社	情報誌等による事業内容の紹介	44																
74	宇治市福祉サービス公社	障害者・高齢者への理解を深めるための各種講座などの取り組み	44																
75	宇治市福祉サービス公社	初期認知症総合相談支援事業	44																
76	宇治市福祉サービス公社	認知症初期集中支援チーム事業	44																
77	宇治市福祉サービス公社	宇治市認知症アクションアライアンス“れもねいど”の事務局業務	44																
78	宇治市福祉サービス公社	地域福祉センター等での「地域福祉のつどい」「コミュニティカフェ」の開催	53																
79	宇治市福祉サービス公社	第三者評価の受け入れによるサービスの質の向上	55																
80	宇治市福祉サービス公社	地域包括支援センター事業の推進	56																
81	宇治市福祉サービス公社	地域支援事業推進のための体制整備事業	56																
82	宇治市福祉サービス公社	障害者相談支援事業	60																
83	宇治市福祉サービス公社	地域支援活動等を目的としたNPO法人等の支援	63																
84	宇治市福祉サービス公社	ホームページや広報誌による福祉関連情報・介護予防関連情報の発信	77																
85	宇治市福祉サービス公社	福祉サービス事業者の質の向上に努め、在宅介護の積極的的事业展開を図る	80																
86	宇治市福祉サービス公社	介護予防関連研修事業	80																
87	宇治市社会福祉協議会	介護予防普及啓発事業B型リハビリ教室の開催	4		●														
88	宇治市社会福祉協議会	宇治市老人福祉センターサークル協議会運営支援	15				●												
89	宇治市社会福祉協議会	宇治市総合防災訓練への参加	17					●											

2. 地域福祉活動への住民参画の推進						3. ゆるやかな支え合い				4. 多様な福祉サービスの創生と展開								5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供								事業費 (円)	市支出金 (円)	備 考				
(4)		(5)		(6)		(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(4)														
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46				
																													9,595	0		
																													0	0		
																													0	0		
																													0	0		
																													121,580	0	新規	
					●																								0	0		
						●																							0	0		
						●																							0	0		
											●																		0	0		
																													36,317,308	39,694,090		
																													-	0		
																													-	0		
																													-	0		
																													-	0		
																													-	0		
																													195,764	0		
																													481,193	0		
																													278,885	814,815		
																													-	0		
	●																												-	0		
	●																												-	0		
		●	○																										21,267,680	21,267,680		
				●																									-	0		
						●																			○				22,190	0		
						●																							-	0		
						●																							9,625,000	14,286,574		
						●																							219,545	891,203		
											●																		-	0		
												●																	-	0		
													●													○		○	90,919,933	56,826,000		
														●															371,629	8,500,000		
															●														8,364,563	0		
	○															●													-	0		
																													○	NO.73に同じ	0	
																													●	-	0	
																													●	-	0	
																													15,435,937 (人件費含む)	15,435,937 (人件費含む)		
																													0	0		
																													0	0		

■ 目 次

	実施主体	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進						
				(1)		(2)		(3)		(4)			(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
90	宇治市社会福祉協議会 (宇治市災害ボランティアセンター)	宇治市災害ボランティアセンターの常設運営	17					●											
91	宇治市社会福祉協議会	他市町村の豪雨災害等での災害ボランティアセンター支援活動	17					●											
92	宇治市社会福祉協議会	第3次宇治市地域福祉活動計画 うじピョンの“いいね”アクションプランの推進	28										●					○	
93	宇治市社会福祉協議会	ボランティア講師の調整	31											●					
94	宇治市社会福祉協議会	中学生と赤ちゃんのふれあい交流	31											●					
95	宇治市社会福祉協議会	西小倉地区社協と城南菱創高校・市社協の連携による高齢者への訪問活動	31											●					
96	宇治市社会福祉協議会	京都文教大学との連携によるボランティア活動の促進	31											●					
97	宇治市社会福祉協議会	ボランティア保険の取り扱い	33														●		
98	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会視察研修の調整	33														●		
99	宇治市社会福祉協議会	宇治市学区福祉委員会連絡協議会への支援	33														●		
100	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会連絡協議会による『学区福祉委員強化月間の取組み』支援	35															●	
101	宇治市社会福祉協議会	社会福祉協議会の会員募集(事業所会員等)	36															●	
102	宇治市社会福祉協議会	企業の社会貢献及び地域福祉活動財源強化のための自動販売機設置推進	36															●	
103	宇治市社会福祉協議会	異業種とのネットワークづくり事業	36															●	
104	宇治市社会福祉協議会	備品の貸出し	38																
105	宇治市社会福祉協議会	赤い羽根コラボ助成金事業への支援(宇治市共同募金委員会との連携)	38														○		
106	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会活動への支援	38																
107	宇治市社会福祉協議会	宇治市総合福祉会館の管理運営	39																
108	宇治市社会福祉協議会	福祉活動拠点の整備と活用	39																
109	宇治市社会福祉協議会 (宇治市共同募金会)	赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の実施協力	42																
110	宇治市社会福祉協議会	ふれあい基金・ボランティア基金の運営	42																
111	宇治市社会福祉協議会 (宇治市共同募金会)	自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置	42																
112	宇治市社会福祉協議会	災害時支援活動準備金の運営	42																
113	宇治市社会福祉協議会	在宅高齢者介護者リフレッシュ事業による介護者支援	44																
114	宇治市社会福祉協議会	Hot! ふれあいサロンへの支援(宇治市共同募金委員会との連携)	46																
115	宇治市社会福祉協議会	地域ひとつなぎ事業助成	48																
116	宇治市社会福祉協議会	一人暮らし高齢者等への訪問活動への支援	49																
117	宇治市社会福祉協議会	児童虐待防止ネットワークへの参画	49																
118	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会による一人暮らし老人等への声かけ、見守り活動を媒介にしたネットワークづくり	49																
119	宇治市社会福祉協議会	宇治福祉まつりの開催	53																
120	宇治市社会福祉協議会	新春福祉のつどいの開催	53																
121	宇治市社会福祉協議会	木幡地域懇談会	53																
122	宇治市社会福祉協議会	身体障がい者デイサービス事業の開催	55																
123	宇治市社会福祉協議会	身体障がい者移動支援事業	55																
124	宇治市社会福祉協議会	おしゃべりキャッチボール、赤ちゃんサロン、赤ちゃん広場、赤ちゃんパークの開設	58																
125	宇治市社会福祉協議会	宇治市地域自立支援協議会「こども」部会への参画	60																
126	宇治市社会福祉協議会	「認知症疾患医療連携協議会」への参画	62																
127	宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会の小地域ネットワーク活動における民生児童委員との連携	62																
128	宇治市社会福祉協議会	福祉サービス公社や他法人との協働プロジェクトの実施	62																
129	宇治市社会福祉協議会	市内社会福祉法人との連携事業の検討	62																
130	宇治市社会福祉協議会	れもねいど推進協議会への参画	62																
131	宇治市社会福祉協議会	当事者団体への支援	63																
132	宇治市社会福祉協議会	ボランティア活動センターへの運営支援	63																





2. 地域福祉活動への住民参画の推進						3. ゆるやかな支え合い						4. 多様な福祉サービスの創生と展開						5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供						事業費 (円)	うち市支出金 (円)	備 考						
(4)		(5)		(6)		(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(4)														
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41				42	43	44	45	46	
																		●											0	0		
																		●												5,000,000 (人件費含む)	5,000,000 (人件費含む)	
																		●												1,800,000 (人件費含む)	1,800,000 (人件費含む)	
																			●											22,096,600 (人件費含む)	0	
																			●											0	0	
																			●											900,000	900,000	
																			●											1,866,550 (人件費含む)	1,866,550 (人件費含む)	
																														0	0	
																														No.146に含む	No.146に含む	
																														No.146に含む	No.146に含む	
																														No.146に含む	No.146に含む	
																														No.146に含む	No.146に含む	
																														3,603,833 (人件費含む)	3,600,000 (人件費含む)	
																														0	0	
																														7,436,548 (人件費含む)	0	
																														No.148に含む	0	
						○																								2,660,848	0	
						○																								No.150に含む	0	
																														0	0	
																														0	0	
																														0	0	
																														0	0	
																														No.124に含む	0	

# 宇治市掲載事業一覧

## 目次

	担当課	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進							
				(1)		(2)			(3)			(4)		(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	危機管理室	防災対策推進事業	17					●												
2	危機管理室	防災出前講座	18					●												
3	危機管理室	京都府防災・防犯情報メールの配信事業	18					●												
4	危機管理室	災害時における避難行動要支援者支援事業	25							●										
5	秘書広報課	宇治市ホームページの運営	77																	
6	総務課	安全・安心まちづくり推進事業	23							●										
7	総務課	犯罪被害者等支援事業	47																	
8	自治振興課	地域コミュニティ活動支援事業	38																	
9	自治振興課	集会所維持管理事業	41																	
10	文化スポーツ課	スポーツ教室開催事業	12			●														
11	文化スポーツ課	障害者スポーツ大会の開催	27								●									
12	産業振興課	空き店舗活用支援事業	39																	
13	産業振興課	宇治労政ニュース発行事業	67																	
14	産業振興課	城南地域職業訓練協会運営補助事業	67																	
15	産業振興課	緊急雇用対策事業	68																	
16	人権啓発課	人権啓発事業	1	●																
17	人権啓発課	コミュニティワークうじ館・こはた館運営事業	40																	
18	男女共同参画課	男女共同参画施策推進事業	2	●																
19	男女共同参画課	DV対策事業	50																	
20	ごみ減量推進課	ふれあい収集	50																	
21	地域福祉課	自殺対策事業	51																	
22	地域福祉課	ひきこもり相談窓口設置事業	51																	
23	地域福祉課	地域福祉推進事業	53																	
24	地域福祉課	くらしの資金貸付事業	65																	
25	地域福祉課	民生児童委員活動助成事業	72																	
26	生活支援課	生活困窮者に係る自立支援	70																	
27	障害福祉課	手話奉仕員養成講座開設事業	33														●			
28	障害福祉課	障害者生活支援センター運営事業	60																	
29	障害福祉課	地域自立支援協議会運営委託事業	60																	
30	障害福祉課	障害者生活支援事業	61																	
31	障害福祉課	地域活動支援センター等事業	75																	
32	障害福祉課	障害者成年後見制度利用支援事業	75																	
33	子ども福祉課	ひとり親家庭自立支援事業	2	●																
34	子ども福祉課	育成学級緊急安全対策事業	23							●										
35	子ども福祉課	乳幼児健康支援一時預かり事業	58																	
36	子ども福祉課	子どもショートステイ事業	58																	
37	子ども福祉課	地域子育て支援拠点事業	59																	
38	子ども福祉課	ファミリー・サポート・センター運営事業	59																	
39	子ども福祉課	子育て支援総合コーディネーター事業	59																	
40	子ども福祉課	子ども・子育て情報発信事業	59																	
41	子ども福祉課	ひとり親家庭等福祉生活資金貸付金	66																	
42	子ども福祉課	ひとり親家庭自立支援給付事業	68																	
43	保育支援課	保育所等緊急安全対策事業	24							●										
44	保健推進課	各種予防接種事業	4		●															
45	保健推進課	3か月児健康診査	5		●	○														
46	保健推進課	10か月児健康診査	5		●	○														
47	保健推進課	1歳8か月児健康診査	5		●	○														
48	保健推進課	3歳児健康診査	6		●	○														



■ 目 次

	担当課	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進							
				(1)		(2)			(3)			(4)		(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
49	保健推進課	新生児訪問指導事業	6	●																
50	保健推進課	妊娠・産後支援事業	6	●																
51	保健推進課	妊婦面談事業	7	●																
52	保健推進課	産後ケア事業	7	●																
53	保健推進課	乳児家庭全戸訪問事業	70																	
54	長寿生きがい課	介護予防把握事業	7	●																
55	長寿生きがい課	一般介護予防事業 地域支援型介護予防教室	8	●																
56	長寿生きがい課	一般介護予防事業 ①認知症予防教室②脳活性化教室	8	●																
57	長寿生きがい課	一般介護予防事業 機能訓練事業	8	●																
58	長寿生きがい課	京都認知症総合センター機能強化事業	13		●															
59	長寿生きがい課	訪問型短期集中予防サービス	13		●															
60	長寿生きがい課	通所型短期集中予防サービス	13		●															
61	長寿生きがい課	高齢者活動事業	15			●														
62	長寿生きがい課	老人クラブ助成金	15			●														
63	長寿生きがい課	地域介護予防活動支援事業	16			●														
64	長寿生きがい課	地域リハビリテーション活動支援事業	16			●														
65	長寿生きがい課	一人暮らし高齢者火災警報器給付事業	24						●											
66	長寿生きがい課	宇治市シルバー人材センター運営助成	28								●									
67	長寿生きがい課	認知症地域支援事業 ①認知症あんしんサポーター養成講座 ②キャラバン・メイト養成講座	34														●			
68	長寿生きがい課	認知症家族介護者支援事業 ①認知症家族支援プログラム ②認知症家族支援プログラムOB会	45																	
69	長寿生きがい課	初期認知症総合相談支援事業 ①初期集中支援チーム ②認知症対応型カフェ	45																	
70	長寿生きがい課	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	46																	
71	長寿生きがい課	高齢者虐待対策事業	52																	
72	長寿生きがい課	地域包括支援センター運営事業	56																	
73	長寿生きがい課	地域介護・福祉空間整備費補助金	57																	
74	長寿生きがい課	在宅要援護高齢者対策事業	57																	
75	長寿生きがい課	緊急通報装置(シルバーホン)の設置	57																	
76	長寿生きがい課	認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業	64																	
77	長寿生きがい課	生活支援体制整備事業	64																	
78	長寿生きがい課	家族介護者支援事業	70																	
79	長寿生きがい課	高齢者成年後見制度助成事業	76																	
80	長寿生きがい課	権利擁護事業	76																	
81	健康づくり推進課	子宮頸がん予防接種事業	9	●																
82	健康づくり推進課	各種がん検診事業	9	●																
83	健康づくり推進課	骨粗しょう症予防対策事業	9	●																
84	健康づくり推進課	食生活改善推進員地区組織の支援	10	●																
85	健康づくり推進課	人間ドック受診補助金	10	●																
86	健康づくり推進課	健康診査事業	10	●																
87	健康づくり推進課	健康づくり推進事業	11	●																
88	健康づくり推進課	人間ドック・脳ドック受診補助金	11	●																
89	健康づくり推進課	特定健診・特定保健指導事業	11	●																
90	健康づくり推進課	健康教育・健康相談	13		●															
91	健康づくり推進課	健康づくり・食育アライアンス事業	14		●															
92	健康づくり推進課	健康づくり・食育推進事業	14		●															
93	健康づくり推進課	在宅ねたきり者等訪問指導事業	57																	

2. 地域福祉活動への住民参画の推進						3. ゆるやかな支え合い						4. 多様な福祉サービスの創生と展開						5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供						自殺対策計画	事業費(円)	うち一般財源(円)	備考									
(4)		(5)		(6)		(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(4)																		
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41					42	43	44	45	46				
																					○								★	35,000	35,000					
																																3,192,449	0			
																						○								★	3,185,050	0				
																																2,630,545	0			
																															●	5,201,590	2,207,590			
																																7,050,356	881,294			
																																24,059,560	3,007,445			
																																10,834,820	1,354,352			
																																44,978,323	5,510,202			
																																4,000,000	4,000,000			
																																1,420,858	177,607			
																																4,862,350	607,793			
																																143,352	65,352			
																																4,959,420	2,908,420			
																																81,100	10,137			
																															★	300,660	37,582			
																																0	0			
																																10,269,000	10,269,000			
																																★	539,354	67,419		
																																	409,200	78,771		
																																★	20,193,538	3,887,256		
																																	1,595,300	1,595,300		
																																★	122,461	122,461		
																																○	136,846,400	26,342,932		
																																	0	0		
																																	2,904,668	2,904,668		
																																★	15,753,704	1,866,379		
																																	896,203	896,203		
																																	13,509,380	2,600,555		
																																	●	4,282,398	824,360	
																																	14,077,776	2,709,971		
																																	○	0	0	
																																	9,912,706	9,912,706		
																																	92,744,511	86,404,511		
																																	236,145	197,145		
																																	363,826	135,679		
																																	10,337,250	154,770		
																																	88,406,283	34,010,820		
																																	12,510,274	0		
																																	53,070,710	53,070,710		
																																	114,794,035	58,142,035		
																																	★	1,035,322	145,451	
																																	★	3,228,378	3,228,378	
																																	★	311,197	311,197	
																																	0	0		

■ 目 次

	担当課	事業	ページ	1. 安全安心に暮らせるまちづくり									2. 地域福祉活動への住民参画の推進									
				(1)			(2)			(3)			(4)			(1)		(2)			(3)	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
94	介護保険課	在宅医療・介護連携推進事業	14			●																
95	介護保険課	介護保険制度出張講座	78																			
96	介護保険課	介護相談員派遣事業	80																			
97	介護保険課	福祉人材研修事業	81																			
98	道路建設課	交通安全施設整備事業	21							●												
99	雨水対策課	河川改修事業	19							●												
100	雨水対策課	排水路改良事業	19							●												
101	雨水対策課	公共下水道(雨水)整備事業	20							●												
102	公園緑地課	黄檗公園再整備事業	18							●												
103	公園緑地課	公園バリアフリー整備事業	21																			
104	公園緑地課	まちかどふれあい花たん推進事業	34																●			
105	公園緑地課	みどりのボランティア推進事業	34																●			
106	建築指導課	耐震診断・耐震改修推進事業	20							●												
107	建築指導課	ブロック塀等緊急安全対策支援事業	20							●												
108	交通政策課	交通バリアフリー推進事業	22								●											
109	教育総務課	地域緊急安全対策事業	24								●											
110	学校管理課	小・中学校学校施設整備・大規模改造事業	22								●											
111	生涯学習課	市民啓発推進事業	2	●																		
112	生涯学習課	障害者教室開催事業	27										●									
113	生涯学習課	人材バンク事業	29										●									
114	生涯学習課	野外活動センター管理運営事業	41																			
115	学校教育課	幼稚園緊急安全対策事業	24							○	●											
116	学校教育課	小・中学校「総合的な学習の時間」推進事業	31													●						
117	学校教育課	図書館ボランティア養成事業	34																●			
118	教育支援課	放課後子ども教室支援事業	40																			
119	教育支援課	不登校児童生徒自立支援教室運営	52																			
120	教育支援課	心と学びのパートナー派遣事業	52																			
121	教育支援課	不登校児童生徒支援事業	52																			
122	教育支援課	ふれあい教育相談	71																			
123	生涯学習センター	生涯学習センター講座等開催事業	2	●																		
124	生涯学習センター	市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)事業	29											●								
125	善法青少年センター	善法青少年センター事業	3	●												○						
126	河原青少年センター	河原青少年センター事業	3	●												○						
127	大久保青少年センター	大久保青少年センター事業	3	●												○						
128	指揮指令課	要配慮者情報管理事業	18							●												



第4章 第2期計画の実施に向けて

3 地域福祉推進のプログラム

柱	<p><b>1. 安全・安心に暮らせるまちづくり</b> 一人ひとりの人権が尊重され、誰もが住み慣れた地域で安全に、安心していきいきと暮らしていくことができるように、環境の整備や支え合いのしくみづくりを推進します。</p>
---	---

大項目	(1) 個人の尊厳と基本的人権を尊重し、地域の課題解決に向けた取り組みを地域全体で進められるように推進・支援します。
具体的な取り組み	1 同和問題や女性、子ども、高齢者、障害のある人、外国人、難病患者等をめぐる人権問題を課題としながら、一人ひとりが命の尊さや互いの基本的人権を尊重し合う福祉社会実現の取り組みを推進・支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要	
宇治市 人権啓発課	人権啓発事業	宇治市第2次人権教育・啓発推進計画に基づき、各種の啓発事業を実施し、「人権尊重の理念の普及」と「さまざまな人権問題の解決」に向けた市民の人権意識の向上や市民相互の交流促進を図る。	
	◆成果・実績及び見込		
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)
	◎人権強調月間(8月)の取組 平和☆ひゅうまん夏フェスタ(文化センター 271人参加)／人権啓発スポットCM放送(エフエム宇治放送 1日3回放送)／人権啓発懸垂幕掲示(市役所庁舎)／人権啓発パネル展示(市役所市民ギャラリー) ◎人権週間(12/4～12/10)の取組 ひゅうまんフェスタ(生涯学習センター周辺一帯 100人参加)／人権啓発スポットCM放送(エフエム宇治放送 1日3回放送)／人権啓発懸垂幕掲示(市役所庁舎)／人権啓発パネル展示(市役所市民ギャラリー) ◎その他の取組 情報紙「jinken」配布(8月,1月 各号8万部)／身近に感じる人権講座(2～3月 生涯学習センター他 224人参加)／人権の花運動(10月～3月 市内小学校3校で実施)／人権啓発物品配布(年間 各種催し 5,110個配布)／啓発教材(DVD等)貸出(年間 29本貸出)／市政だよりによる広報・啓発(年間)／人権啓発懸垂幕掲示(5月 市役所庁舎) ◎山城地区広域連携事業 山城人権ネットワーク推進協議会(ひゅうまんねっとやましろ)を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組んだ。		◎人権強調月間(8月)の取組 平和☆ひゅうまん夏フェスタ(約300人参加)／スポットCM放送／パネル展示 ◎人権週間(12/4～12/10)の取組 ひゅうまんフェスタ(1,000人参加見込み)／スポットCM放送／懸垂幕掲示／パネル展示 ◎その他の取組 情報紙「jinken」配布(各号8万部)／身近に感じる人権講座(260人参加見込み)／人権の花運動(市内小学校3校で実施予定)／啓発物品配布(5,200個配布見込み)／啓発教材(DVD等)貸出(45本貸出見込み)／市政だよりによる広報・啓発／懸垂幕掲示 ◎山城地区広域連携事業 山城人権ネットワーク推進協議会(ひゅうまんねっとやましろ)を通じて、広域連携・市民連携の啓発活動に取り組む。
			2022年度見込 (令和4年度)
		実施	実施
◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明		
B	各種の広報・啓発事業を実施したことにより、人権尊重理念を普及し、さまざまな人権問題の解決に対する市民の理解を深めることができた。今後も、ニーズの把握、分析に努めるとともに、さらに啓発効果を高めるため、市民自らが実践活動できるような取組を検討する必要がある。		

宇治市 男女共同 参画課	<b>男女共同参画施策推進事業</b>	男女共同参画に関する各種講座やあさぎりフェスティバルなどのイベントを開催、情報誌の発行、「女性のための相談」「男性のための相談」を実施する。いろいろな分野でチャレンジしている、またはチャレンジしようとする女性を支援するための相談窓口を開設する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	各種セミナー(全6講座) 延べ319人参加(オンライン込) あさぎりフェスティバル 中止 男女共同参画週間UJIのつどい 84人参加(オンライン込) 情報誌 年4回各2,000部発行 女性のための相談 一般相談 215件、専門相談 104件 男性のための相談 42件 ここからチャレンジ相談 全24回・延べ99人参加	実施	実施	実施
◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
A	概ね計画どおりに実施している。新型コロナウイルス感染症対策のためあさぎりフェスティバルは中止となったが、代替として冊子「あさぎりフェスティバルのあゆみ」を作成配布した。また、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、セミナーはオンラインでの参加も可能とした。			
宇治市 こども福祉課	<b>自 ひとり親家庭自立支援事業</b>	ひとり親家庭の自立に向けた総合的な支援を実施するため、情報提供や求職活動、職業能力向上に関する相談を実施する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	母子・父子自立支援員を配置し、ひとり親家庭に情報提供や相談指導を行った。また、相談員の資質向上研修や、ハローワークの出張相談会(3回)を実施した。	継続実施	継続実施	継続実施
◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
A	母子父子自立支援員設置事業として、母子・父子自立支援員を週3日配置し、関係機関と連携しながら相談に応じ、ひとり親家庭の自立に向けて支援をすることができた。28年度から児童扶養手当の現況届提出時期である8月は週4.5日配置、またハローワークの出張窓口を市役所内に開設し、ひとり親家庭が必要な支援に確実につながるよう相談しやすい体制としているほか、8月の休日・平日夜間に窓口開設日を設けている。令和2年度はひとり親家庭臨時特別給付金の受付のため母子父子自立支援員の配置を増やしたところ、給付金受付と同時に相談も実施できて効果があった。今後は、より効果的な自立支援のため、支援員の配置は8月以外の月も週4.5日としたい。			
宇治市 生涯学習課	<b>市民啓発推進事業</b>	人権問題を正しく認識し、市民自らが自分の問題として理解し、日常生活の中で差別を許さない目を持って捉えられるよう、人権啓発用の視聴覚教材を貸し出している。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	市民に人権教育フィルム・ビデオテープ・DVDの貸し出しを行った。	市民に人権教育フィルム・ビデオテープ・DVDの貸し出しを行う。	市民に人権教育フィルム・ビデオテープ・DVDの貸し出しを行う。	市民に人権教育フィルム・ビデオテープ・DVDの貸し出しを行う。
◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
B	人権問題啓発用視聴覚教材の貸出について、多方面で広報し、貸出を行っているが、さらなる周知・PRが必要である。			
宇治市 生涯学習 センター	<b>生涯学習センター講座等 開催事業</b>	社会・時代の変化に対応するための各種講座の開設など学習の場を提供し、市民の学習機会の拡充を通じて生涯学習を推進する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業を中止したが、感染防止対策を講じた上で実施が可能なものから事業を開催した。また、生涯学習情報紙を市民スタッフと共に編集し、年4回計10,000部発行し、市内の学習情報の提供に努めた。	実施	実施	実施
◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
A	新型コロナウイルスの影響により中止した事業が多くあったが、感染防止対策を講じて、幅広い世代に向けた多彩な講座等を開催した。今後も主体的に生涯学習に取り組む機会を提供する。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 善法青少年 センター	<b>善法青少年センター事業</b>		人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動・体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施する。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	学習・文化活動としては、書道教室・えいごくらぶ・手作り教室等を実施した(計265回 2,825人)体育・スポーツ・レクリエーション活動としては、スポーツクラブ・ダンス教室等を実施した。(計22回 340人)各活動により、青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動や学習の促進を図ることができた。		学習・文化活動・体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施	学習・文化活動・体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施	学習・文化活動・体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		新型コロナウイルス感染症対策のため、各種活動の実施が制限される中でも、指導員の工夫や努力により、一定数実施することができた。今後もセンターの利用者数を確保するため、感染症対策に留意しながら、児童・生徒や保護者のニーズを捉え、状況に応じた事業内容を検討し続けていく必要がある。			
宇治市 河原青少年 センター	<b>河原青少年センター事業</b>		人権が尊重される豊かな社会の実現に向けて、青少年の教育・文化の向上、健全育成を目的に、学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動等のセンター事業を実施する。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら各種事業・教室等を実施したが、感染リスクの高い一部事業については中止した。 ◎学習・文化活動 エイゴであそぼ、工作教室、体験学習、お茶教室など 75回、1047人 ◎体育・スポーツ・レクリエーション活動 ダンス教室のみ実施した 9回、126人		コロナウイルス感染症にかかる社会情勢等を勘案しつつ、可能な範囲で学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動を実施予定。主な事業は、エイゴであそぼ、工作教室、お茶教室、ダンス教室など	学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動の実施	学習・文化活動、体育・スポーツ・レクリエーション活動の実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		新型コロナウイルス感染症にかかる制約がある中でも、各種活動を通じ青少年の生きる力を育み、健全育成と地域文化活動及び学習の推進を図った。			
宇治市 大久保 青少年 センター	<b>大久保青少年センター事業</b>		青少年の「生きる力」を育み、健全育成と地域文化活動の促進を図ることを目的に、こどもクラブ、各種教室、催し物等を実施する。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	青少年の健全育成を図るため、各種教室、催し物、こどもクラブ、地域との交流など、活動の充実に努めた。 各種教室・催し物21回 参加人数432人 こどもクラブ48回 参加人数512人		各種教室・催し物 32回実施見込 こどもクラブ 56回実施見込	各種教室・催し物 40回実施見込 こどもクラブ 97回実施見込	各種教室・催し物 40回実施見込 こどもクラブ 97回実施見込
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		市内の小・中学校から、多くの子どもたちが各事業に参加し、地域の各世代とのふれあいや他校・他学年の子どもとの交流を図ることができた。新型コロナウイルス感染症対策やセンター移転等の影響により一部の事業を中止したが、それ以外は概ね計画どおり実施することができた。今後も事業参加を促すため、引き続き子どもたちのニーズを把握し、事業内容の工夫に努める必要がある。			

大項目	(2) 健康でいきいきと暮らしていくために、こころと体の健康づくりを推進します。
具体的な取り組み	2 各種予防事業に積極的に取り組みます。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	介護予防普及啓発事業の実施 (笠取・笠取第二除く)	各学区のB型リハビリ教室への運営支援を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	介護予防事業の実施	宇治市委託により、運動・口腔機能の維持・向上、栄養改善、認知機能低下防止等の介護予防を総合的に行う教室を開設し、機能回復維持を図り、要介護状態にならないよう介護予防教室の運営を計画的に行う。また、脳活性化事業として地域包括支援センター主催の脳活性化教室を実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	介護予防普及啓発事業B型リハビリ教室の開催	宇治市よりの受託事業。概ね週1回、山間地域を除く各小学校区にて、地域ボランティアが主体となり、高齢者の介護予防活動の普及や啓発に取り組む。利用者はもちろんのこと、身近な住民によるボランティアの健康づくりとご近所同士のつながりづくりを進めている。年4回介護予防に関する研修等も実施している。

実施主体・担当課	事業	事業概要																																			
宇治市保健推進課	各種予防接種事業	予防接種法に基づき、予防接種を実施することにより、発病及び感染を予防する。																																			
	◆成果・実績及び見込																																				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)																																	
	<p>予防接種法に基づく予防接種は、健やかセンターと協力医療機関で実施し、法改正に対応して適切な疾病予防に努めた。また、各種乳幼児健診時、市民カレンダー、市政だより、ホームページなどで幅広く広報することにより、接種率の向上を図った。</p> <p>また、令和2年10月よりロタウイルスワクチンの定期接種を開始した。</p> <p>なお、集団接種のBCGは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～7月前半まで中止。中止期間中の対象者は、令和2年5月25日～9月30日の期間、協力医療機関で個別接種により対応した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">(人)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>接種者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>BCG(集団接種)</td><td>824</td></tr> <tr><td>不活化ポリオ</td><td>0</td></tr> <tr><td>4種混合</td><td>4,588</td></tr> <tr><td>3種混合</td><td>1</td></tr> <tr><td>2種混合</td><td>1,235</td></tr> <tr><td>麻しん風しん混合</td><td>2,489</td></tr> <tr><td>麻しん</td><td>0</td></tr> <tr><td>風しん</td><td>0</td></tr> <tr><td>日本脳炎</td><td>6,434</td></tr> <tr><td>ヒブ</td><td>4,537</td></tr> <tr><td>小児用肺炎球菌</td><td>4,464</td></tr> <tr><td>水痘</td><td>2,310</td></tr> <tr><td>B型肝炎</td><td>3,272</td></tr> <tr><td>ロタ</td><td>1,119</td></tr> <tr><td>BCG</td><td>379</td></tr> </tbody> </table> <p>※還付分含む</p>	(人)			接種者数	BCG(集団接種)	824	不活化ポリオ	0	4種混合	4,588	3種混合	1	2種混合	1,235	麻しん風しん混合	2,489	麻しん	0	風しん	0	日本脳炎	6,434	ヒブ	4,537	小児用肺炎球菌	4,464	水痘	2,310	B型肝炎	3,272	ロタ	1,119	BCG	379	法改正に合わせ、適切な予防接種を実施	法改正に合わせ、適切な予防接種を実施
(人)																																					
	接種者数																																				
BCG(集団接種)	824																																				
不活化ポリオ	0																																				
4種混合	4,588																																				
3種混合	1																																				
2種混合	1,235																																				
麻しん風しん混合	2,489																																				
麻しん	0																																				
風しん	0																																				
日本脳炎	6,434																																				
ヒブ	4,537																																				
小児用肺炎球菌	4,464																																				
水痘	2,310																																				
B型肝炎	3,272																																				
ロタ	1,119																																				
BCG	379																																				
◆2020年度(令和2年度)の評価																																					
評価	評価に対する説明																																				
B	予防接種法に基づき適正に感染症予防対策を実施し、市民の健康保持を図ることができた。今後も国の措置に対応し、適切な疾病予防の実施と市民への周知・啓発に努める。																																				

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 保健推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 3か月児健康診査	生後3～4カ月頃は、体重の増加や外界に対する器官の発達など心身の著しい発進が進む時期であり、健診により先天性疾患等の早期発見を可能とする。特に心疾患、股関節脱臼、中枢性協調障害の発見や心身発達の遅れの指導、離乳食の指導をポイントとしている。また、育児不安の強い親への基本的な育児指導など精神的支援も行う。		
		◆成果・実績及び見込		
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	乳児期の健全な成長発達を図るため、月3～4回健やかセンターにて健診を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～7月は集団健診を中止し、令和2年6月～8月に協力医療機関で個別健診により対応した。 受診者数 1,129人(受診率:94.4%)	月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施
◆2020年度(令和2年度)の評価		評価に対する説明		
評価 <b>B</b>	子どもの発達段階に合わせた集団指導、健診項目を実施することによって、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。近年、核家族化の進行などによって、育児に関する相談が増えており、今後も妊娠・出産期から切れ目ない支援ができるよう子育て支援を推進する必要がある。			
宇治市 保健推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 10か月児健康診査	乳児期後期における中枢性協調障害、痙性両麻痺、聴力障害等の異常の発見とともに1歳8か月児健診で発見される自閉症などの早期発見、早期対応に努める。		
		◆成果・実績及び見込		
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	乳児期の健全な成長発達を図るため、(一社)宇治久世医師会に委託し健診を実施した。また、経過を見る必要がある乳児に対しては、月1回健やかセンターで経過健診を実施した。 10か月児健診 受診者数 1,025人(受診率:94.3%) 10か月児経過健診 受診者数 62人	健診は(一社)宇治久世医師会へ委託し、経過健診を月1回実施	健診は(一社)宇治久世医師会へ委託し、経過健診を月1回実施	健診は(一社)宇治久世医師会へ委託し、経過健診を月1回実施
◆2020年度(令和2年度)の評価		評価に対する説明		
評価 <b>B</b>	子どもの発達段階に合わせた健診項目を実施することによって、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。幼児期へ向けて育児上の困りごとが増加する時期であるため、パンフレット等を見直すなどし、さらに保健指導について検討する必要がある。			
宇治市 保健推進課	<input checked="" type="checkbox"/> 1歳8か月児健康診査	月3～4回健やかセンターで実施する。内科健診・歯科健診・身体計測・栄養集団指導・保健指導等を行い必要に応じて個別の発達相談や栄養相談を行う。フォローアップ事業として地区担当保健師による訪問や発達相談、乳幼児相談で引き続き個別相談を行う。		
		◆成果・実績及び見込		
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	幼児期前期の健康の保持・増進を図るため、月3回健やかセンターにて健診を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～7月は健診を中止した。 受診者数 1,119人(受診率:95.2%)	月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施
◆2020年度(令和2年度)の評価		評価に対する説明		
評価 <b>B</b>	子どもの発達段階に合わせた集団指導、健診項目を実施することによって、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。近年、核家族化の進行や、発達支援が必要な子どもの増加などによって、育児不安となる親の相談件数が増えており、今後も総合的な子育て支援を推進する必要がある。			

宇治市 保健推進課	<b>自 3歳児健康診査</b> 3歳5～6カ月児を対象として、身体発育、精神発達の問題、視聴覚障害の早期発見など、多面的に診査し、総合的な判断と指導によって、就学前幼児の健康の保持、増進を図る。また、育児不安の解消、子育て支援をする。内科健診、歯科健診、身体計測、検尿、視力検査、発達検査、保健指導などを実施する。			
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)		
	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)		
幼児期後期の健康の保持・増進を図るため、月3～4回健やかセンターにて健診を実施した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～7月は健診を中止した。 受診者数 1,230人(受診率:95.3%)		月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施	月3～4回健やかセンターにて実施
◆2020年度(令和2年度)の評価		評価に対する説明		
評価	B			
子どもの発達段階に合わせた集団指導、健診項目を実施することによって、子どもの健康保持・増進、疾患の早期発見、親の育児支援を行うことができた。幼児期最後の健診であり、発育・発達状況を総合的に判断できるよう、より効果的な健診の実施方法を検討する必要がある。				
宇治市 保健推進課	<b>自 新生児訪問指導事業</b> この時期に親の希望に沿った新生児の養育上必要な保健指導を実施することで健やかな発育・発達を促す。また、地区担当の保健師の訪問により、子育て初期から親との信頼関係を築き、今後の母子保健サービスの展開につなげる。			
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)		
	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)		
産婦及び新生児の妊娠中、出生時、現在の状況を把握し、それに対して保健指導を行った。また、今後の相談窓口として地区担当保健師を紹介するとともに、保健事業を普及・啓発し、安心して子育てが出来るよう援助した。 訪問件数 607件		希望により 随時実施	希望により 随時実施	希望により 随時実施
◆2020年度(令和2年度)の評価		評価に対する説明		
評価	B			
新生児期の養育上必要な育児指導、先天性異常の早期発見等、適切な保健指導を行うことで、保護者の育児不安の軽減を図ることができた。				
宇治市 保健推進課	<b>妊娠・産後支援事業</b> ・妊娠・出産・育児についての正しい知識を広め、妊産婦・乳児の健康の保持増進を図ること及び孤独な育児を予防するため参加者同士が交流できるよう教室を実施している。また、個別指導が必要な妊婦には、妊婦訪問を行っている。 ・生後2カ月から就学までの子どもと保護者を対象に、育児や発達上の相談に対応し、育児不安軽減等の育児支援及び虐待予防、地域の育児力向上を図るため乳幼児相談を実施している。			
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)		
	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)		
妊産婦やその夫を対象に、健やかな子どもの成長発達を促すことを目的とした講座を実施し、参加者同士の交流を図った。また、専門職が適切に相談対応することにより、育児不安の軽減、虐待予防、地域の育児力向上を図った。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を中止した期間があることから、参加人数が減少した。  プレママひろば～ストレッチでボディケア～ 3回開催 参加人数 3人 お世話体験 6回開催 参加人数 97人 クッキング 3回開催 参加人数 0人 沐浴 9回開催 参加人数 131人 ママのためのおはなし会 産後のママのための育児相談会へ再編 産後ママのための育児相談会 20回開催 参加人数 150人 妊婦訪問 随時訪問 訪問人数 61人 乳幼児相談 19回開催 相談者数 405人 あんしんかんDEお話タイム 5回開催 相談者数 127人		各種教室及び 相談事業、 訪問事業を実施	各種教室及び 相談事業、 訪問事業を実施	各種教室及び 相談事業、 訪問事業を実施
◆2020年度(令和2年度)の評価		評価に対する説明		
評価	B			
教室や訪問を実施することにより、妊娠期からの仲間づくりや父母ともに子育てするという意識の醸成、家庭での健康づくりを促進することができた。さらに、保健師や栄養士等の専門職が育児に不安のある親等からの相談を受け、育児負担の軽減や子育て支援を図ることができた。今後、参加しやすい日程の設定や、より効果的な実施手法を検討しながら継続実施する。また、地域子育て支援センターと連携し、市民が気軽に利用できる体制の充実に努める。				

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 保健推進課	<b>自 妊婦面談事業</b> 子育て世代包括支援センターの設置に伴い、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ないサポートを行うにあたり、母子健康手帳交付時に保健師による面談を行い、行政とのファーストタッチとして地区担当保健師を知り、安心して相談できる場を提供する。また、面談時には、子育て用品(宇治市ネウボラセット)を配布する。			
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行い、保健指導や必要に応じて子育て支援サービスの紹介を行った。また、子育て用品(宇治市ネウボラセット)を配布することで、子どもとのふれあいの大切さを理解してもらうとともに、行政との今後の関わりへのきっかけづくりとした。 面談件数 1,195件	母子健康手帳交付時に保健師による面談を実施し、ネウボラセットの配布を行う。	母子健康手帳交付時に保健師による面談を実施し、ネウボラセットの配布を行う。	母子健康手帳交付時に保健師による面談を実施し、ネウボラセットの配布を行う。
◆2020年度(令和2年度)の評価		評価に対する説明		
評価	B			
母子健康手帳交付時に、保健師による面談を行うことで、安心して相談でき、妊娠期から子育て期まで切れ目ないサポートができるよう関係性の構築を図ることができた。妊婦面談後の継続的な関わりができるよう引き続き切れ目ない子育て支援について検討する。				
宇治市 保健推進課	<b>自 産後ケア事業</b> 産後、家族等の援助が受けられず支援を必要とする母子に対して、心身のケア、育児の支援その他、母子の健康の維持・増進に必要な支援を実施することにより、母子に対する支援体制を確立し、母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、母子とその家族が健やかな育児ができるように支援する。			
	◆成果・実績及び見込み			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	妊娠期から申請ができるため、妊婦は産後の支援体制を具体的に考えることができ、妊娠期から不安の軽減を図れた。また、事業の利用により、産婦の心身の安定が図れた。 令和2年度より利用対象者を産後1年未満の母子に拡充したことから、より利用しやすい制度となった。  利用実人数 42人 宿泊型 8人(延べ38日) 訪問型(助産師) 21人(延べ29日) 訪問型(介護福祉士) 18人(延べ95日) 日帰り型 20人(延べ32日)	京都府の制度を利用し、訪問型のみ支援がある方でも可能とする。また、1回分の利用料を半額とする。	支援がある方でも利用できる制度の構築を検討	継続実施
◆2020年度(令和2年度)の評価		評価に対する説明		
評価	A			
支援が必要な方に利用を促すことができ、子育てに対する負担感の軽減を図ることができた。さらに、支援が必要な方が確実に利用できるよう、事業の制度や周知方法を検討する。				
宇治市 長寿 生きがい課	<b>介護予防把握事業</b> ①閉じこもり等の何らかの支援を要する者を早期に把握し、住民主体の介護予防活動へつなげるため、75歳の高齢者(ただし介護認定を持つ者等は除く)を対象に、必要に応じて保健指導や相談、関係機関への連携等の支援を行う。 ②市内の75歳以上の介護認定を受けておらず、一人暮らし・高齢者世帯確認表を作成していない一人暮らし高齢者を民生児童委員を通じて訪問し、見守りに繋げる。			
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	①訪問実人数 1,176人 訪問延べ人数 1,518人 ②対象者数 937人	①終了 ②対象者数1,070人	①終了 ②対象者数1,100人	①終了 ②対象者数1,780人
◆2020年度(令和2年度)の評価		評価に対する説明		
評価	A			
対象者を早期に把握することで、何らかの支援を要する者に対し、一般介護予防事業や包括等の関係機関へつなげることができた。				

宇治市 長寿 生きがい課	一般介護予防事業 地域支援型介護予防教室	65歳以上の市民に対し、心身の健康を保つために運動、栄養、口腔及び認知症について複合的に学び、仲間づくりを目指した教室。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	はつらつトレーニング教室 ・実人数 420人 ・延べ人数 4,082人 ・教室終了後の自主グループ数 5グループ		実人数 400人 延人数 4,500人 自主グループ 3グループ	実人数 450人 延人数 7,000人 自主グループ 6グループ	実人数 450人 延人数 7,000人 自主グループ 10グループ
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	教室に通うだけでなく、終了後も自主的に介護予防活動に取り組めるよう、自主グループを立ち上げた。今後も地域活動の活性化を目標に新たなグループを立ち上げる。				
宇治市 長寿 生きがい課	一般介護予防事業 ①認知症予防教室 ②脳活性化教室	高齢者が地域で心身ともにいきいきと暮らすことができるよう、認知症及び介護予防についての正しい知識を普及啓発する教室。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	認知症予防教室 実人数 115人 延べ人数 1,381人 脳活性化教室 延べ人数 2,421人		認知症予防教室 実人数 121人 延べ人数 1,861人 脳活性化教室 延べ人数 2,000人	認知症予防教室 実人数 130人 延べ人数 2,800人 脳活性化教室 延べ人数 5,000人	認知症予防教室 実人数 130人 延べ人数 2,800人 脳活性化教室 延べ人数 5,000人
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	認知症予防教室:教室終了後、自主グループが発足するなど、地域で介護予防活動を継続して実施することができている。 脳活性化教室:市内8圏域ごとに月2回開催。新型コロナの影響により、これまで予約不要で気軽に参加できていたが、事前予約制にした。事業のあり方等について今後検討が必要。				
宇治市 長寿 生きがい課	一般介護予防事業 機能訓練事業	高齢者を年齢や心身の状況によって分け隔てることなく、住民主体の通いの場を充実させ、地域において生きがい・役割をもって生活できる地域づくりを目指すとともに、対象者が生活機能の改善に向けて知識・技術・意欲の獲得を目指す教室。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	①パワリハトレーニング教室 実人数 153人、延べ人数 1,588人 ②スロートレーニング教室 実人数 122人、延べ人数 1,377人 ③スロートレーニング教室(ミックス) 実人数 50人、延べ人数 487人 ④セルフパワリハ 実人数 206人、延べ人数 5,959人 ⑤B型リハビリ教室 実人数 143人、延べ人数 3,163人		①実人数 150人 延人数 1,500人 ②実人数 120人 延人数 1,500人 ③実人数 50人 延人数 500人 ④実人数 200人 延人数 6,000人 ⑤実人数 150人 延人数 4,800人	①実人数 150人 延人数 2,000人 ②実人数 130人 延人数 2,000人 ③実人数 50人 延人数 800人 ④実人数 300人 延人数 8,500人 ⑤実人数 150人 延人数 5,000人	①実人数 150人 延人数 2,000人 ②実人数 130人 延人数 2,000人 ③実人数 50人 延人数 800人 ④実人数 300人 延人数 8,500人 ⑤実人数 150人 延人数 5,000人
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	各々の段階に応じた心身の機能維持、回復を図るための必要な訓練を実施し、日常生活の自立の促進を図ることができた。プログラムの構成の改善及び他事業との連携等、より効果的な事業の実施方法の検討を行う。				

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 健康づくり 推進課	<b>子宮頸がん予防接種事業</b>	子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルスの感染予防のため、未感染の年代の女性に定期接種として実施。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	延べ接種件数 590件		延べ接種件数 600件	延べ接種件数 600件	延べ接種件数 600件
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	子宮頸がん予防接種は、平成25年度から定期接種化しているが、平成25年6月14日の厚生労働省勧告により積極的な接種勧奨を控えている状況が続いていた。しかし、令和2年10月9日、接種について検討・判断するための情報提供の個別通知は必要とする旨の勧告がなされた。そのような背景の中、接種件数が少しずつ増加している。今後も引き続き国の動向を注視していく必要がある。				
宇治市 健康づくり 推進課	<b>各種がん検診事業</b>	大腸がん検診、胃がん検診、肺がん検診は40歳以上の市民を対象に実施。子宮頸がん検診は20歳以上、乳がん検診は40歳以上の女性対象に隔年実施。2018年度より、前立腺がん検診は50歳以上の男性対象に隔年実施。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	【個別がん検診】 大腸がん検診 受診者数 8,208人 要精密検査者数 801人 乳がん検診 受診者数 2,972人 要精密検査者数 210人 子宮頸がん検診 受診者数 2,894人 要精密検査者数 46人 前立腺がん検診 受診者数 1,610人 要精密検査者数 164人 【集団がん検診】 胃がん検診 受診者数 1,157人 要精検査者数 74人 肺がん検診 受診者数 2,239人 要精検査者数 98人		【個別がん検診】 大腸がん検診 受診者数 8,208人 乳がん検診 受診者数 2,972人 子宮頸がん検診 受診者数 2,894人 前立腺がん検診 受診者数 1,610人 【集団検診】 胃がん検診 受診者数 1,157人 肺がん検診 受診者数 2,239人	【個別がん検診】 大腸がん検診 受診者数 8,208人 乳がん検診 受診者数 2,972人 子宮頸がん検診 受診者数 2,894人 前立腺がん検診 受診者数 1,610人 【集団検診】 胃がん検診 受診者数 1,157人 肺がん検診 受診者数 2,239人	【個別がん検診】 大腸がん検診 受診者数 8,208人 乳がん検診 受診者数 2,972人 子宮頸がん検診 受診者数 2,894人 前立腺がん検診 受診者数 1,610人 【集団検診】 胃がん検診 受診者数 1,157人 肺がん検診 受診者数 2,239人
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	各種がん検診事業は受診者数向上のために、国制度や市独自の受診勧奨などの取り組みを行っている。今後も検診の受診行動につながるような普及啓発も合わせて取り組んでいく必要がある。				
宇治市 健康づくり 推進課	<b>骨粗しょう症予防対策事業</b>	2018年度より、20歳以上65歳未満の市民を対象に、骨密度の測定と骨粗しょう症の予防の為に体験学習などを実施する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	骨密度の測定後、生活・栄養の話と運動実技の体験を行った。 3回54人		3回100人	3回100人	3回100人
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	骨密度の測定により、自身の骨密度を知ると共に生活習慣との関連を知る機会としている。骨粗しょう症予防の生活・食事面での注意や運動実技体験を通し、日常生活の中での行動変容ができるようにする。食事と運動両面の知識を普及させ、家庭で取り組める内容を実施する。				

宇治市 健康づくり 推進課	<b>食生活改善推進員地区組織の支援</b>		市民の健康づくりや生活習慣予防のために食生活改善を進める宇治市食生活改善推進員協議会「若葉の会」の活動を支援する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	食生活改善推進員の地域での活動に対して支援を行い、行政研修会を実施した。 ◎「若葉の会」の活動状況 支援活動回数 41回 参加会員数 369人 ◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 75人		◎「若葉の会」活動状況 支援活動回数 50回 参加会員数 370人 ◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 50人	◎「若葉の会」活動状況 支援活動回数 50回 参加会員数 370人 ◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 50人	◎「若葉の会」活動状況 支援活動回数 50回 参加会員数 370人 ◎「若葉の会」に対する行政研修会の実施 実施回数 2回 参加会員数 50人	
◆2020年度(令和2年度)の評価						
評価		評価に対する説明				
B		現在55名の会員で活動中である。昨年度、養成講座を実施したため、会員数が増加し活発な活動ができつつあるが、新型コロナウイルス感染症の影響で活動数が減少している状況がある。今後も新会員の定着や活動等について、助言等を行い会への活動支援を図る。				
宇治市 健康づくり 推進課	<b>人間ドック受診補助金</b>		後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために半日人間ドックに係る健診料の7割を後期高齢者医療事業特別会計から補助する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	受診者数 348人		見直し後の内容で実施	見直し後の内容で実施	見直し後の内容で実施	
◆2020年度(令和2年度)の評価						
評価		評価に対する説明				
B		受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図ることができた。今後も健康長寿のための効果的な健診を推進していくため、財源を確保しながら市民ニーズに対応できるよう、事業内容の見直しを図る。				
宇治市 健康づくり 推進課	<b>健康診査事業</b>		後期高齢者医療制度被保険者を対象に、生活習慣病の早期発見・治療を図るために健康診査を実施する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	健康診査:8,610人 歯科健診:33人 ※7月～10月に実施(感染拡大防止のため1か月延期(例年6月実施))		健康診査:9,146人 歯科健診:30人	健康診査:実施 歯科健診:実施	健康診査:実施 歯科健診:実施	
◆2020年度(令和2年度)の評価						
評価		評価に対する説明				
B		高齢者の疾病の早期発見に取り組めた。今後も制度周知に努め、受診者数の増加を図る。また、健康診査の結果をデータ化することで、効果分析に繋げる。				

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 健康づくり 推進課	<b>健康づくり推進事業</b>	国民健康保険被保険者の健康づくりを推進し、医療費の適正化を図るため、重複服薬者への通知や保健師等による保健指導、健康教室等を実施。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	服薬通知と保健指導等を実施することにより、被保険者とかかりつけ医、かかりつけ薬局の服薬情報の一元化管理を推奨し、重複服薬の解消を図ることができた。健康教室は、緊急事態宣言等の影響により開催することはできなかったが、代わりに申込者に対し運動指導士による健康づくり運動の動画を配信し、日常生活の中で家庭でできる健康づくりの実践を促した。	重複服薬通知事業の継続。 重症化予防の1つである「糖尿病」にターゲットを当て、専門医による講演会を実施する。	重複服薬通知事業の継続。 被保険者における健康課題を中心にテーマを設定し、各種健康づくり教室等を実施する。	重複服薬通知事業の継続。 被保険者における健康課題を中心にテーマを設定し、各種健康づくり教室等を実施する。
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	コロナ禍でも工夫をして事業を実施することが出来た。引き続き、国制度等をふまえて、さまざまな保健事業を実施していく。			
宇治市 健康づくり 推進課	<b>人間ドック・脳ドック受診補助金</b>	35歳以上75歳未満の被保険者を対象に、疾病の早期発見・治療により、健康管理に対する自覚を深めて医療費の適正化を図ることを目的として、半日人間ドック・脳ドックの健診料の7割を国民健康保険事業特別会計から補助する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	人間ドック:1,306人 脳ドック:684人	人間ドック定員: 1,700人 脳ドック定員:800人	人間ドック定員: 1,700人 脳ドック定員:800人	人間ドック定員: 1,700人 脳ドック定員:800人
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	新型コロナウイルス感染症の影響により、両ドックとも受診者数が減少した。今後も引き続き受診ニーズの把握に努め、受診者の健康保持と経済的負担の軽減を図る。			
宇治市 健康づくり 推進課	<b>特定健診・特定保健指導事業</b>	生活習慣病の予防による医療費削減を目的として、40歳以上75歳未満の被保険者を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査・特定保健指導を実施し、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少を図る。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	特定健診受診者数:9,970人 ※7月～10月に実施(感染拡大防止のため1か月延期(例年6月実施)) 特定保健指導実施者:239人	特定健診:実施 特定保健指導:実施	特定健診:実施 特定保健指導:実施	特定健診:実施 特定保健指導:実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	はがきによる受診勧奨通知の送付と電話による受診勧奨を実施し、特定健診の受診率の向上に努めた。今後も引き続き、受診・実施率の向上に取り組み、メタボリックシンドローム該当者・予備軍の減少を図る。			

(2) 健康でいきいきと暮らしていくために、こころと体の健康づくりを推進します。

具体的な取り組み	3 各種検(健)診事業や予防事業等、健康に関する情報を積極的に広報することにより、より多くの人の事業への参加をめざします。
----------	---

## &lt;具体的な取り組みの実施状況&gt;

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	介護予防サポートセンターを主体とした各種介護予防事業等の実施と情報提供	認知機能低下防止や運動器機能向上の教室、訪問指導等の事業を計画的に実施すると共に、健康づくりに関する市民啓発を行う。
宇治市福祉サービス公社	健康増進に向けた各種教室や研修の実施	認知機能低下防止や運動器機能向上の教室、訪問指導等の事業を計画的に実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市文化スポーツ課	スポーツ教室開催事業	市民にスポーツの場を提供し、スポーツ・レクリエーションの実践を通じて市民相互の交流を促進し、健康・体力づくりを図るため、各種のスポーツ教室やニュースポーツひろばを開催する。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		<p>・ニュースポーツひろばを黄檗体育館にて3回、西宇治体育館にて3回開催。計130人参加。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、黄檗体育館12回、西宇治体育館13回中止。</p> <p>・各地域の体育振興会にニュースポーツひろば事業を委託。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、一部中止や規模縮小もあったが、計654名の参加者を得た。</p>	<p>ニュースポーツひろば継続実施</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、令和3年5月～6月まで中止、7月より実施を再開したが、緊急事態宣言発令により9月中止。</p>	実施見込	実施見込
	◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明			
	B	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部中止しながらも、種目制限、人数制限等の対策を講じて実施し、市民のスポーツ振興に貢献できた。新型コロナウイルス感染症感染拡大状況等により開催中止となることが多くあったため、今後新型コロナウイルス感染症拡大防止の為の新しい生活様式における事業実施・運用方法の確立が課題となっている。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

宇治市 長寿 生きがい課	<b>京都認知症総合センター機能強化事業</b>		京都認知症総合センターが、包括的な医療・介護サービスを提供し、地域資源との連携体制を強化し、認知症に係る初期から看取り期までの課題に対応できる機能を持つモデルを完成させるとともに、認知症の初期支援プログラム等を開発して、他地域への普及を推進する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	・認知症医療・介護連携の枠組み構築のためのモデル事業 ・本人の活動を重視する認知症カフェ推進事業 ・『認知症の人の声を社会に！』推進事業		継続実施	継続実施	継続実施	
	◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		一般市民及び医療関係機関、介護関連事業所等にも周知が図られてきており、利用者及び受診者は増加傾向。当事者によるピアサポート事業により認知症の本人、家族への支援が図られている。				
宇治市 長寿 生きがい課	<b>自 訪問型短期集中予防サービス</b>		要支援または介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、地域包括支援センター等がケアマネジメントにより作成したケアプランにおいて、本サービスの利用がふさわしいと判断された者を対象に、理学療法士または作業療法士、歯科衛生士、栄養士、保健師などのいずれかが、居宅を訪問して指導を行う。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	訪問実人数 5人 訪問延べ回数 48回		訪問実人数10人 訪問延人数60回	訪問実人数10人 訪問延人数60回	訪問実人数10人 訪問延人数60回	
	◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		対象者の生活課題に対して適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう、適正に支援した。今後は専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を行うとともに、サービスについての周知啓発を行い、利用の機会の拡大を目指す。				
宇治市 長寿 生きがい課	<b>自 通所型短期集中予防サービス</b>		要支援または介護予防・日常生活支援総合事業対象者のうち、地域包括支援センター等がケアマネジメントにより作成したケアプランにおいて、本サービスの利用がふさわしいと判断された者を対象に、個々の心身の状況に応じて通所によるサービスを実施する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	実施回数 73回 実人数 16人 延べ人数 179人		実施回数 72回 実人数 40人 延べ人数 550人	実施回数 72回 実人数 40人 延べ人数 550人	実施回数 72回 実人数 40人 延べ人数 550人	
	◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		通所による生活指導を通じ、対象者の生活課題に対して適切に相談・指導を行い、在宅で自立した生活を継続できるよう、適正に支援した。今後は専門的な支援の充実等、より効果的な事業実施を行うとともに、サービスについての周知啓発を行い、利用の機会の拡大を目指す。				
宇治市 健康づくり 推進課	<b>自 健康教育・健康相談</b>		生活習慣病等の予防及び健康の保持増進について、正しい知識を普及し、健康への自覚を高めることを目的に、教室・相談を実施する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	各種健康講座等を実施し、健康の保持増進、生活習慣病の予防、健康に関する正しい知識を啓発する他、市民の心身の健康に関する個別の相談に応じ、家庭で継続しやすい内容の普及に努めた。 健康教育 92回 1,052人 健康相談 75回 75人		健康教育 90回 1,000人 健康相談 60回 60人 合計 150回 1,060人	健康教育 140回 3,500人 健康相談 170回 1,000人 合計 310回 4,500人	健康教育 140回 3,500人 健康相談 170回 1,000人 合計 310回 4,500人	
	◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
B		各種健康教育の開催や市民の相談に個別に対応し、健康に関する正しい知識の普及啓発と健康の保持増進を図った。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、イベントの中止などもあったため、参加者は減少した。今後も、感染予防対策と市民ニーズの把握に努め、より多くの市民の方の健康増進に向け、広報の見直しや実施手法の改善に努める必要がある。				

宇治市 健康づくり 推進課	<b>自 健康づくり・食育アライ アンス事業</b>	宇治市健康づくり・食育推進計画の目標を達成するため、地域で個々に健康づくり・食育活動に取り組む団体同士を結び付け、団体同士の交流を深めるネットワーク「宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA」を構築する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	令和元年度、新たに「宇治市健康づくり・食育アライアンスU-CHA」を立ち上げた。加入団体数は令和元年度51団体、令和2年度62団体と年々増加している。また、加入団体同士の交流会やコラボ事業も多く行われており、地域における健康づくり及び食育の活動が活性化されている。 加入団体数：62(健康づくり30、食育32) 加入団体によるコラボ事業実施数：11	宇治市健康づくり・食育アライアンスのもと加入団体、行政、関係機関との連携を充実させ、健康づくり・食育推進事業を実施予定。加入団体70団体を目標とする。	宇治市健康づくり・食育アライアンスのもと加入団体、行政、関係機関との連携を充実させ、健康づくり・食育推進事業を実施予定。加入団体80団体を目標とする。	宇治市健康づくり・食育アライアンスのもと加入団体、行政、関係機関との連携を充実させ、健康づくり・食育推進事業を実施予定。加入団体90団体を目標とする。
◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
A	今後は加入団体同士の交流を活性化させ、地域での活動の活性化を図る。			
宇治市 健康づくり 推進課	<b>自 健康づくり・食育推進事業</b>	健康づくり推進プランと食育推進計画を一体化した「宇治市健康づくり・食育推進計画」を策定し、「健康長寿日本一」の実現に向けて健康づくりと食育を一体的に推進する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	「宇治市健康づくり・食育推進計画」の基、基本目標「市民とまちが取り組む 健康長寿日本一」の実現に向けて、市民の健康づくり及び食育を推進していくため、7月及び2月に協議・検討を行った。	宇治市健康づくり・食育推進計画の基で実施	宇治市健康づくり・食育推進計画の基で実施	宇治市健康づくり・食育推進計画の基で実施。次期計画策定。
◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
B	「宇治市健康づくり・食育推進計画」に基づき、概ね計画通り実施している。策定から5年経ち、中間評価を実施し課題等整理を行った。			
宇治市 介護保険課	<b>在宅医療・介護連携推進事業</b>	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供するため、地域における医療、介護の関係機関の連携体制を構築する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	ア)地域の医療・介護の資源の把握(ココカラまるごとブック発刊) イ)在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 ウ)切れ目のない在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進 エ)医療・介護関係者の情報共有支援 オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援 カ)医療・介護関係者の研修 キ)地域住民への普及啓発 ク)在宅医療・介護連携に関する関係市町との連携 ※2020年度までは健康生きがい課が実施	健康生きがい課 より移管	健康生きがい課 より移管	健康生きがい課 より移管
◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
B	介護と医療の連携について課題がある。介護と医療がお互いを理解し合える体制の構築が必要。情報を共有したうえで課題を把握し、その改善のために検討することが必要。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

(2)健康でいきいきと暮らしていくために、こころと体の健康づくりを推進します。

具体的な取り組み	4 高齢者のサークル活動の支援等により、生きがいを推進します。
----------	---------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	市民向け各種講座、支援活動の実施	公社独自の事業として、高齢者の生活知識の拡大や生きがいをづくり、社会貢献・参加を促す事業を実施するとともに、終了後は継続的な活動に繋がるよう支援していく。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	宇治市老人福祉センターサークル協議会運営支援	宇治市総合福祉会館を拠点に活動する宇治市老人福祉センターサークル協議会(USK)の運営支援を行い、各サークルの発展とともに、サークル間の連携強化を図っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市長寿生きがい課	高齢者活動事業	高齢者が生きがいをもって社会参加できるよう、高齢社会及び健康についての啓発をはじめ、老人福祉センターサークル協議会・連合喜老会の活動を支援する補助金を交付する。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		・老人クラブ活動促進特別事業補助金 116,852円 ・老人福祉センターサークル活動発表大会事業補助金 0円 ・宇治市敬老月間事業 26,500円	実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明			
	B	計画的に事業を実施しており、次年度以降も継続して実施する。また、補助内容や助成額については継続して検討を行う。			
宇治市長寿生きがい課	老人クラブ助成金	高齢者の生きがいをづくりと社会参加を促進するため、老人クラブの活動に対して助成を行う。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		・老人クラブ活動事業費補助金 3,809,420円 ・老人クラブ社会見学事業費補助金 0円 ・連合喜老会活動事業運営補助金 1,150,000円	実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明			
	B	計画的に事業を実施しており、次年度以降も継続して実施する。また、補助内容や助成額については継続して検討を行う。			

宇治市 長寿 生きがい課	<b>地域介護予防活動支援事業</b>		住民が運営する通いの場を充実させ、通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりの推進と、要介護状態となることの予防や生きがい・役割をもって生活できる地域の構築を目的として、「介護予防に資する通いの場活動支援事業」を実施するボランティア団体等に対して、その活動を支援するための補助金を交付する。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	補助金交付団体数 2団体		実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		これまでから自主的に活動していた団体と、市が実施する介護予防教室の卒業生が立ち上げた団体に対し、活動を支援するための補助金を交付した。			
宇治市 長寿 生きがい課	<b>自 地域リハビリテーション活動支援事業</b>		介護予防に関連する地域団体からの依頼により、専門職の派遣を行い、介護予防や健康増進に関する地域活動の活性化を図る。		
	◆成果・実績及び見込み				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	派遣団体数:25団体 派遣回数:30回		実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		介護予防に関連する地域団体(サロンや介護予防教室のOB会等)の依頼により、専門職の派遣を行い、その団体が継続的に活動できるよう支援し、活性化を図った。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

大項目	(3) 災害時の被害を最小限にとどめる取り組みや生活環境のバリアフリー化を推進します。
具体的な取り組み	5 防災情報の発信や災害ボランティアセンターへの支援等、災害時に備えた取り組みを積極的に推進します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	災害時体制の宇治市災害ボランティアセンターへの協力 (笠取第二除く)	災害時の災害ボランティアセンターへ構成団体として協力を図る。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	宇治市総合防災訓練への参加 (令和2年度はコロナ禍で中止)	市総合防災訓練と連携し、展示や啓発を行う。(コロナ禍で中止)
宇治市社会福祉協議会 (宇治市災害ボランティアセンター)	宇治市災害ボランティアセンターの常設運営	災害時における被災者支援活動及び、災害がない日頃からも「災害に強いまちづくり」を目指して、宇治市民とともに災害ボランティアの啓発や訓練を行う常設型の災害ボランティアセンターの運営を行っている。いざという時に備え、「共助」の精神で顔の見える関係づくりを進めている。
宇治市社会福祉協議会	他市町村の豪雨災害等での災害ボランティアセンター支援活動	東北、和歌山、府内北部、熊本、大阪北部、岡山等、台風19号被災地へのボランティア活動など、様々な地域の災害ボランティアセンター支援を行ってきたことは、宇治市での災害ボランティアセンター運営の大きな礎となっている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 危機管理室	防災対策推進事業	宇治市地域防災計画に基づき、防災訓練の実施や防災設備の拡充、自主防災組織の育成、養成した防災リーダーのフォローアップなどを行う。取組みの推進を図る中で地域防災力の向上を図る。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		・新型コロナウイルス感染症の影響により宇治市防災訓練中止 市職員のみで避難所運営における新型コロナウイルス感染症対応訓練の実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインで防災リーダーのフォローアップ研修を実施 ・新型コロナウイルス感染症の影響により新たに防災リーダーを養成講習を中止	・宇治市防災訓練の実施 ・防災リーダーフォローアップ研修	・宇治市防災訓練の実施 ・防災リーダーフォローアップ研修	・宇治市防災訓練の実施 ・防災リーダーフォローアップ研修
		◆2020年度(令和2年度)の評価			
	評価	評価に対する説明			
	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、オンラインで実施した自主防災リーダーフォローアップ研修により、地域の防災力向上を図ることができた。避難所運営における新型コロナウイルス感染症対応訓練を実施したことにより、受付からの流れや関係機関との連携等について確認することができた。今後も様々な訓練を通してさらなる地域の防災力の向上に努める必要がある。			

宇治市 危機管理室	<b>防災出前講座</b>	町内会・自治会が実施する防災講演会に講師として職員を派遣するほか、地域の防災訓練に対する助言等を行い、地域防災力の向上に努める。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	新型コロナウイルス感染症の影響で各町内会・自治会等への出前講座や地域の防災訓練の実施が著しく減った。実施される出前講座等にあつては職員が参加し、防災に関する啓発を行った。 2020年度実績：8回	20回	100回	100回
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	町内会やその他団体に向け、防災出前講座を実施することができたが、地域間で防災意識の温度差がある状況であるため、更なる啓発が必要である。			
宇治市 危機管理室	<b>京都府防災・防犯情報メールの配信事業</b>	配信希望者に対し台風接近時の避難所開設情報や宇治市防災訓練の実施案内を配信し、市民の安全・安心の推進を図る。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	防災・安心情報の配信を継続して実施。	防災・安心情報の配信を継続して実施。	防災・安心情報の配信を継続して実施。	防災・安心情報の配信を継続して実施。
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	市から避難情報等を発信する状況ではなかったが、気象情報や地震情報等は配信された。			
宇治市 公園緑地課	<b>黄檗公園再整備事業</b>	黄檗公園の施設改修を進めるとともに、災害時における防災拠点・広域避難地機能を兼ね備えた都市公園として、再整備を行う。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	災害時に応援部隊の貯留場所として使用する野球場グラウンドの整備が完了、合わせて災害に対応するためのトイレ改修、避難路として使用する園路改修を実施した。	園路・駐車場改修工事予定	園地改修工事予定	園地改修工事予定
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	市の財政見通し等を考慮しながらの計画実施が必要となっている。			
宇治市 指揮指令課	<b>要配慮者情報管理事業</b>	火災などの災害が発生したとき、自力での避難が困難な方の安全確保をすみやかにするため、登録申請をしてもらう。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	平成18年3月1日から本事業を開始し、平成29年度から消防本部の要配慮者情報登録申請書と危機管理室の避難行動要支援者登録申請書を統一する。 また、平成29年3月までに危機管理室の避難行動要支援者に登録されている方の名簿も提供され、順次消防指令システムへ入力を行っている。 高齢者の方を始め、ハンデキャップのある方など自力避難が困難な6名の方の申請を受理し、延べ6,170名を消防指令システムに消防活動の支援情報として順次登録し、火災救急事案において活用している。	市民広報を行うとともに、避難行動要支援者を消防指令システムに順次登録し、火災救急事案等において活用している。	市民広報を行っていくとともに、避難行動要支援者を消防指令システムに順次登録し、火災救急事案等において活用していく。	市民広報を行っていくとともに、避難行動要支援者を消防指令システムに順次登録し、火災救急事案等において活用していく。
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	令和2年度末において延べ6,170名の申請を受理し、順次高機能指令システムに登録し活用している。今後も火災や救急事案において重要な要配慮者支援情報として活用できることから、積極的に登録事業を進めていく。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

(3) 災害時の被害を最小限にとどめる取り組みや生活環境のバリアフリー化を推進します。

具体的な取り組み	6	災害時の被害を最小限にとどめるために、河川等の改修・整備や建築物の耐震改修助成等の取り組みを推進します。
----------	---	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 雨水対策課	河川改修事業	都市化の進行に伴う保水機能の低下、雨水流出量の増大等流域の変化と護岸等の老朽化に対応し、水害防止と安全快適な都市基盤の整備を図るため、市民の日常生活に関連した河川の機能増強等の改修整備を実施する。特に市街地において緊急な対策を要する河川については、重点整備を行う。			
		◆成果・実績及び見込			
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		工事(谷山川・新田川)	工事(志津川)	工事(池ノ尾川)	工事
		◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明				
A	河川の機能増強を図り、浸水被害を軽減するため、河川の護岸工事を実施した。				
宇治市 雨水対策課	排水路改良事業	都市化の進行に伴う保水機能の低下や、近年多発している局地的豪雨による著しい雨水流出量の増加に対応し、水害防止と安全快適な都市基盤の整備を図るため、雨水施設整備計画との整合を図り排水路の改良工事を実施する。また、老朽化施設については、補強、改築等の更新を行っていく。			
		◆成果・実績及び見込			
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		工事 (宮谷調整池ほか)	工事 (槇島8号排水路ほか)	工事 (宇治7号排水路ほか)	工事
		◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明				
A	排水路の流下能力の向上を図るため、排水路の改良工事を実施した。				

宇治市 雨水対策課	<b>公共下水道(雨水)整備事業</b>		年々激化する局地的豪雨による浸水被害の軽減を図るため、宇治市における広域的な雨水都市基盤整備事業として、公共下水道雨水施設整備計画に基づき、排水路改良や地下貯留施設の整備等公共下水道(雨水)整備事業の実施・拡大に向けて、効率的且つ効果的な整備に取り組んでいく。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	工事 ・貯留施設 (目川地区) (堀池地区)		工事 ・貯留施設 (目川地区) (堀池地区) (堂の川地区)	工事 ・貯留施設 (西大久保小学校) ・排水路 (槇島18号系統排水路)	工事 ・貯留施設
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		局地的豪雨の発生等による浸水対策として公共下水道(雨水)整備事業により、雨水貯留施設などの整備工事を行った。また、引き続き、雨水貯留施設の整備や排水路改良等を計画的に取り組んでいく。			
宇治市 建築指導課	<b>耐震診断・耐震改修推進事業</b>		「宇治市建築物耐震改修促進計画」の目標達成にむけ、耐震診断・耐震改修助成を行っている。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	旧耐震住宅の多い地域を中心に、順次地域を設定し旧耐震住宅への啓発チラシの配布や個別訪問を実施した。又、防災フェア、その他防災関係のイベント等でパネル展示、耐震化への啓発、リーフレット・チラシ配布等の啓発活動を行い、耐震診断・耐震改修希望者に対し、助成事業を実施した。(木造住宅耐震診断64件、同耐震改修38件(内簡易改修14件))		木造住宅耐震診断31件、同耐震改修6件、同簡易改修15件の申請を受け付けた。(R03.8.25現在見込) 耐震改修促進計画を改定、令和7年度末95%を目標に耐震改修助成を実施。	継続予定	継続予定
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		平成27年度末、耐震化率90%を目標に耐震改修助成を行ってきたが86.1%の結果。平成28年度、耐震改修促進計画を改定し、令和7年度末95%以上を目標に耐震改修助成を実施。計画の「減災化」の考え方に基づき、耐震シェルター設置への助成制度も実施。平成30年度より耐震改修及び簡易改修の補助額を引上げ。令和2年度の耐震化率は90.4%で目標達成には厳しい状況ではあるが、引き続き啓発活動を行い、耐震化の促進に努める。			
宇治市 建築指導課	<b>ブロック塀等緊急安全対策支援事業</b>		地震時のブロック塀等の倒壊による危険を防止し、地震に強いまちづくりを推進するため、緊急的に行う道路等に面したブロック塀等の撤去工事等に対して補助金を交付している。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	平成30年6月に発生した大阪府北部を震源とする地震をきっかけに、平成30年11月から事業を実施。令和2年度は、道路等に面したブロック塀等の撤去工事に対して、13件の補助金交付を行った。(令和2年度末で事業終了)				
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
F		ブロック塀等の安全性が改めて社会問題化する中で、多くの方に事業を活用していただき、市内の安全性が確認できないブロック塀等の撤去が促進された。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

(3) 災害時の被害を最小限にとどめる取り組みや生活環境のバリアフリー化を推進します。

具体的な取り組み	7	すべての人が安全に安心して利用できるように、公共施設や道路等の計画的なバリアフリー化やユニバーサルデザインの普及を促進します。
----------	---	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 道路建設課	交通安全施設整備事業	歩行者等の交通安全対策として、ガードレール、カーブミラー、歩道の設置、段差切下等を実施。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		交通安全施設の設置を行い、歩行者等の安全を確保した。令和2年度は、宇治市通学路交通安全プログラムに基づく交通安全対策および市内全域において交通安全施設の設置を実施した。また、2路線において設計等の委託業務を実施した。◎安全施設設置 道路反射鏡14基 防護柵設置46m 区画線設置1,670m ◎設計委託等 五ヶ庄63号線ほか	継続実施見込	継続実施見込	継続実施見込
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	平成27年度に策定した宇治市通学路交通安全プログラムに基づき、児童のみでなく歩行者等の安全確保に向け、着実かつ効果的な取り組みを進めている。また、高齢者、身体障害者への対応としてバリアフリー化の推進が強く求められており、安全、安心な道路づくりに向けた取組みを実施した。			
宇治市 公園緑地課	公園バリアフリー整備事業	都市公園におけるバリアフリー化基準等に基づく公園施設のバリアフリー化及び遊具の更新を行い、公園利用者の利便性・安全性を向上させる。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		安全で安心した利用できる公園とするため、23公園での遊具の更新を行った。	遊具更新工事予定	継続実施見込	継続実施見込
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	B	市の財政見通し等を考慮しながらの計画実施が必要となっている。			

宇治市 交通政策課	<b>交通バリアフリー推進事業</b>		鉄道駅構内および鉄道駅からみんなが集まる場所までの経路に関して、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、全体構想ならびに地域を特定し具体的な整備計画を示した基本構想を策定し、バリアフリー化を推進する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	・宇治市交通バリアフリー全体構想改訂版に基づき、近鉄伊勢田駅のバリアフリー化工事を実施した。 ・策定した基本構想に基づいたバリアフリー化事業を一部実施した。		・策定した基本構想に基づいたバリアフリー化事業の実施 ・法令等の改正に伴う事業の見直し等の検討	同左	同左	
	◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		策定した基本構想に基づき事業を進めており、引き続き各交通事業者や道路管理者等との調整を行い事業の推進を図る。				
宇治市 学校管理課	<b>小・中学校学校施設整備 ・大規模改造事業</b>		第2次学校施設整備計画に基づく施設整備を順次行う。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	北槇島小・笠取小・南宇治中 ワイドブーストイレ設置(多目的トイレ設置済)		未定	未定	未定	
	西小倉小・北小倉小・南小倉小・西小倉中 ワイドブーストイレ設置					
◆2020年度(令和2年度)の評価						
評価		評価に対する説明				
A		事業を順調に実施している。				

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

大項目	(4) 地域による防犯・防災の取り組みを支援します。		
具体的な取り組み	8	地域における防犯・防災のネットワークづくりのきっかけとなる、民生児童委員や学区福祉委員等による一人暮らし高齢者訪問活動、子どもや障害者の見守り活動等の拡充を支援します。	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	こどもの見守り活動の実施 (菟道第二・小倉)	学校の安全連絡会に協力し、子ども達の登下校時の見守り活動を実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市総務課	<b>安全・安心まちづくり推進事業</b>	宇治市安全・安心まちづくり条例に基づき施策を実施する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	各小学校区に組織されている安全管理団体に補助金を交付し自主的な活動を支援した。また、令和3年度から令和7年度を計画期間とし、地域防犯活動の推進や犯罪被害者等支援の充実のほか、新たに再犯防止施策の推進を盛り込み地方再犯防止推進計画へ位置づけるなど、現在の状況を踏まえた「宇治市第4次防犯推進計画」を策定した。なお、「防犯講演会」及び「宇治市子どもの安全な生活を守るネットワーク会議」は新型コロナウイルスの影響により実施を見送った。		講演会等の実施補助金の交付ながら防犯パトロールの推進	講演会等の実施補助金の交付ながら防犯パトロールの推進	講演会等の実施補助金の交付ながら防犯パトロールの推進
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	安全管理団体への補助金交付により安全・安心なまちづくりに資する取組を推進できた。一方で、活動メンバーの高齢化による減少や固定化等の課題があり、今後は様々な世代の防犯活動への参加や多様な層の横断的かつ縦断的な連携の推進に向けた支援の検討が必要である。				
宇治市子ども福祉課	<b>育成学級緊急安全対策事業</b>	安全・安心な学級運営の確立を図るため、三季休暇や土曜日において各学級に安全対策支援員等を配置し、児童の安全確保を図る。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	校内への不審者の侵入を防ぐため、安全対策支援員等を配置し、育成学級周辺や運動場等校内の巡回と来校者の確認などを行い、三季休暇や土曜日における各育成学級入級児童の安全確保を図った。		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	事業を順調に行っている。				

宇治市 保育支援課	<b>保育所等緊急安全対策事業</b>		安全・安心な保育所等の運営のため、各公立保育所に保育所等安全運営支援員を配置するとともに、民間保育所(園)・民間認定こども園での保育所等安全運営支援員の配置に対し補助を行う。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	○公立保育所 保育所安全運営支援員を配置(実施園数:7園) 8,566,350円 ○民間保育所(園)・認定こども園 保育所等安全運営支援員の配置に対する補助 (実施園数:19園 ※分園を含めると21園) 24,549,000円		<実施見込園数> ○公立保育所:7園 ○民間保育所(園):5園 ○民間認定こども園:16園 (分園2園含む)	今後のあり方について検討	今後のあり方について検討
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		事業を順調に行っている。			
宇治市 長寿 生きがい課	<b>一人暮らし高齢者火災警報器 給付事業</b>		火災等による被害から高齢者を守り、安全確保を図るため、火災警報器を給付する。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	給付件数 5件		実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		ニーズが明確であり、高齢者の生活上の安全確保に大きく寄与していることから、今後も事業を継続する。			
宇治市 教育総務課	<b>地域緊急安全対策事業</b>		小・中学校、幼稚園の安全管理対策の強化を図る。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	小・中学校・幼稚園に、1日ひとり当たり4時間以上、午前・午後各1名の計2名体制でスクールサポーターを配置し、防犯カメラのモニター監視や校内巡視、校門の安全管理などの活動を行った。安全安心な学校・園の確立という面だけでなく子どもたちとのつながり、地域と学校のパイプ役といった効果も見られた。		安全安心な学校・園の確立に向けた取組の一つとして、継続実施としている。昨年度に引き続き、他の地域安全活動との整合性など検討している。	令和3年度中に防犯カメラを増設等する中学校9校については、現状の学校運営支援員(スクールサポーター)の配置は無しとする。	今後のあり方について検討
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		小・中学校、幼稚園の安全確保を図ることができた。令和2年度は継続実施しているが、高齢化や人材確保・育成等が課題であり、安全安心な学校・園の確立に向けては、他の地域安全活動との連携や、ハード・ソフト面の方策の検討も含めて安全確保に努める。			
宇治市 学校教育課	<b>幼稚園緊急安全対策事業</b>		私立幼稚園の安全管理対策の強化を図る。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	私立幼稚園における運営支援員の配置に対して補助を行う(3園)		申請のある3園に対して補助を実施	申請のある園に対して補助を実施	申請のある園に対して補助を実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
A		事業を順調に実施している。			

1. 安全・安心に暮らせるまちづくり

(4) 地域による防犯・防災の取り組みを支援します。

具体的な取り組み	9	避難行動要支援者支援事業に基づき、災害時に自力での避難が困難な人(避難行動要支援者)の情報を本人の同意を得たうえで町内会・自治会等と共有し、いざというときに助け合える体制の整備を推進します。
----------	---	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 危機管理室	災害時における避難行動要支援者支援事業	避難行動要支援者リストの作成にもとづき、要支援者への緊急情報の伝達や避難誘導支援などについて関係機関の協力を得て、実施する。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		モデル地区の成果をもとに、マニュアル化し、モデル地区以外の地域へ呼びかけを行った。	モデル地区以外の他の地域へ事業を拡大していく。	モデル地区以外の他の地域へ事業を拡大していく。	モデル地区以外の他の地域へ事業を拡大していく。
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	モデル地区の成果をもとに、マニュアル化し、モデル地区以外の地域へ呼びかけを行うことができた。			

柱	<b>2. 地域福祉活動への住民参画の推進</b> 人材の発掘・育成や支え合いのしくみづくり、地域での活動拠点の整備を進めます。
---	---

大項目	(1) 地域福祉活動への参加意欲を持っている人が、気軽に活動に参加できるきっかけづくりを支援します。
具体的な取り組み	10 学区福祉委員会によるバザーや、市社協の福祉まつり等のイベントが地域福祉活動への参加のきっかけになるよう、広報の工夫や継続的に参加してもらえらる取り組みを支援します。

＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	福祉バザーの開催 (南部・菟道・神明・大久保・小倉・西小倉地区社協) (令和2年は、コロナで中止)	誰もが気軽に参加できるバザーなどに取り組み、活動財源の確保を図る一方で、地域住民との交流をより一層活性化する。各学区福祉委員会により、小学校の体育館や地元の公共施設等に開催する。
学区福祉委員会	研修会の実施 (各学区) (令和2年は、コロナでほとんどが中止)	学区福祉委員の内部研修や住民向け研修、講座の実施。
学区福祉委員会	広報紙作成研修会活動の実施 (伊勢田) (令和2年は、コロナで中止)	広報紙作成ノウハウの習得を目的とした福祉研修会に力を入れ、読みやすく、わかりやすい紙面作り、住民参画を促進する。
学区福祉委員会	住民交流活動の実施 (各学区) (令和2年は、コロナで中止)	学区内の各種団体と連携して夏まつり等のイベントを開催し、世代間交流活動を実施している。
学区福祉委員会	広野ふれあいまつりの開催 (大久保) (令和2年は、コロナで中止)	大久保学区内の全住民を対象に、誰もが気軽に参加できる場作りとして地域イベントを開催する。
学区福祉委員会	西小倉地区福祉まつりの開催 (西小倉地区社協) (令和2年は、コロナで中止)	学区福祉委員会活動の広報や地域活動への啓発を行い、学区福祉委員の発掘に繋げるため、地区福祉まつりを開催する。
学区福祉委員会	福祉委員の募集強化月間について	福祉委員の担い手の増加を目指して、行政に協力を得て市政だよりに掲載を頂く。また、各福祉委員会での独自のチラシを用いて口コミでも福祉委員の募集を行う。
学区福祉委員会	榎まつりの開催 (榎島) (令和2年は、コロナで中止)	地域で福祉委員会についての啓発になるように、地域のサロン等の団体や、施設等を巻き込んでお祭りを開催する。
学区福祉委員会	福祉サポーターの呼びかけ (菟道第二)	学区福祉委員の募集を行う一方、できるときにできること(特技)をテーマに、福祉協力サポーターの呼びかけを行う。
学区福祉委員会	北榎グランドゴルフの開催 (北榎島)	体育振興会との協働により実施。一般参加者が学区福祉委員と出会うきっかけづくりとなっている。
学区福祉委員会	伊勢田学区内懇談会の実施 (伊勢田)	学区福祉委員会、宇治市社会福祉協議会、西宇治包括支援センター、生活支援コーディネーター(公社SC)との協議により、コロナ禍で閉じこもりがちになっている地域の高齢者の役割づくりを兼ね、子どもたちの登下校時の見守り体制の強化策について協議を行っている。今後は、地域の様々な団体に参画いただけるような協議の場づくりを進める。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域に根ざす拠点としての、地域福祉センターの活用の推進	公社が指定管理する地域福祉センターを拠点に「地域福祉のつどい」や「コミュニカカフェ」等の事業を実施し、地域との情報共有や交流を深める取り組みを行い、地域福祉センターの機能の周知を図る。

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 文化 スポーツ課	<b>障害者スポーツ大会の開催</b>	障害者の体力維持等を図るとともに社会参加を促進し、障害者に対する正しい理解と認識を深め、広めることを目的として、様々な障害者団体・施設等が実行委員会形式で実施。広く大会スタッフ(ボランティア)を募集し、大会運営のサポートと障害者との交流を行っている。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、中止。	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、中止。	実施見込	実施見込
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	<b>B</b>	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、中止した。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為の新しい生活様式における事業実施・運用方法の確立が課題となっている。			
宇治市 生涯学習課	<b>障害者教室開催事業</b>	障害者の自立と社会参加を目指し、障害に応じた学習機会を設定するとともに、ボランティアとの交流・相互理解を図る。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		障害の有無に関わらず参加することができる合同講座1回と合同社会見学1回を開催し、延べ99人の参加があった。事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策に配慮した。	障害の有無、種別によらず誰もが参加できる講座を開催する。	障害の有無、種別によらず誰もが参加できる講座を開催する。	障害の有無、種別によらず誰もが参加できる講座を開催する。
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	<b>B</b>	障害者団体・ボランティアと連携して教室を開催し、障害の種別に応じた学習機会の提供・仲間づくりに取り組み、障害者の自立と社会参加を促進するとともに、共生社会の実現に向けて、主催協会以外の協会の参加促進や一般参加を呼び掛けた。今後も講座・教室ごとに協議を重ね、内容を精査して事業の改善に努める。			

(1) 地域福祉活動への参加意欲を持っている人が、気軽に活動に参加できるきっかけづくりを支援します。

具体的な取り組み	11 団塊の世代をはじめ、知識や経験を持った人を活動へとコーディネートするしくみを構築します。
----------	---

## &lt;具体的な取り組みの実施状況&gt;

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	ボランティアマッチングサロン	ボランティア活動をしたい人とボランティア活動をしてもらいたい方(施設・団体)とをつなぐ目的で開催。活動センターのボランティアコーディネート機能向上もねらっている。
宇治ボランティア活動センター	ボランティアの発掘	セカンドライフ講座や様々な市民交流の機会に参加するなどし、新たに「共助」「協働」の街づくりの推進に取り組んでもらえるボランティアの発掘を行う。
宇治ボランティア活動センター	個人ボランティア等の特技を活かした、市域での支え合い活動創設にむけた協議	小地域での支え合いのたすけあい活動が、各地域で展開される一方、より広域でのたすけあい活動の必要性や要望もあの中で、市域での助け合い活動の創設に向けて協議を進めている。
宇治ボランティア活動センター	個人登録者へのアンケート実施と関連シンポジウムの開催(市社協と共催)	個人登録者191名を対象にアンケート調査を行った。アンケートの回答から得られた声より、アンケート報告とともに「宇治市地域共生社会シンポジウム:学生や社会人が参加できるボランティアとは」を宇治市社協と当センター共催で開催した。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	通所介護施設における体験実習やボランティアの受け入れ 介護予防事業におけるボランティアの受け入れ ほほえみ介護塾、各種市民向け研修の開催	介護職員初任者研修「ほほえみ介護塾」の開催により、資格取得、就労への援助を行う。また、公社介護実習室の活用により、市内介護保険事業所で働く専門職の資質の向上に向けた研修のほか、福祉活動に関心のある市民に対して各種の講座を企画・開催する。公社・宇治市生涯学習センター・宇治市ボランティア活動センターとの共催で、退職後或いは退職を控えたセカンドライフの過ごし方について考えている人を対象に相談・交流会を開催する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	第3次宇治市地域福祉活動計画 うじピョンの“いいね”アクションプランの推進	第3次地域福祉活動計画策定の理念・目標に基づき、地域福祉活動やテーマ型ボランティア活動、当事者団体、福祉施設、NPOなどとの情報交換等を通じて、今後の福祉活動にかかわる担い手・参画者づくりにつなげていく。令和元年度より見直し作業に入っており、コロナ禍での緊急アンケート調査の結果を活かし、取り組んでいる。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市長生きがい課	宇治市シルバー人材センター運営助成	定年退職後において雇用関係のない就業を通じて労働能力を活用し、生きがいの充実等を希望する60歳以上の高齢者に、地域社会の日常生活に関連した補助的、短期的な仕事を提供するための団体である、公益社団法人宇治市シルバー人材センターの運営に助成を行う。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	宇治市シルバー人材センターの運営補助金について、適正に執行し、高齢者の生きがい増進や就労の促進を図ることができた。 シルバー人材センター運営補助金 10,169,000円		実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。また、運営補助金等の確保については国へ要望する。			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

宇治市 生涯学習課	<b>人材バンク事業</b>		生涯学習活動の活性化を図るため、市ホームページ上及び冊子版で知識・経験・技能を持った個人・グループの情報を提供するとともに、登録講師の指導力向上と人材バンクの周知を目的として市民講師学習講座を開催する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	市HPと冊子版(市内公共施設に設置)による管理・運営・広報を行った。なお、交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。		・市HP、冊子版による運営・広報 ・交流会の開催	・市HP、冊子版による運営・広報 ・交流会の開催	・市HP、冊子版による運営・広報 ・交流会の開催	
	◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
B		毎年、登録講師の意識向上のための交流会を開催しているが、令和元年度に引き続き、令和2年度も中止となった。また、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、講師への依頼が減少した。今後も広報の方法等を工夫し、登録講師の積極的な活動を促していく。				
宇治市 生涯学習 センター	<b>市民まなびの集い(宇治まなびんぐ)事業</b>		生涯学習に取り組んでいる市民の日常活動の発表と交流を図るとともに、市民の生涯学習への意欲を高め、学習活動への参加を促進することを目的に、実行委員会を組織して開催する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	生涯学習活動に取り組む人の成果発表及び市民間の交流、また、これから何かを始めたい人のきっかけづくりの場として、実行委員会形式により開催に向け準備を進めていたが、新型コロナウイルスの影響により開催直前に中止となった。		実施	実施	実施	
	◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		開催直前に中止となったが、実行委員会では市民公募の実行委員が主体的に話し合い、感染症対策を講じた形での開催に向けて準備を進めた。令和2年度に検討や準備を重ねた成果を令和3年度に生かし、今後も時代の変化に対応しながら、市民主導の生涯学習の場として開催に向け取り組んでいく。				

大項目	(2) 地域での世代間交流や学校での福祉体験学習等を通じて、「向こう三軒両隣」で支え合う福祉文化を育む取り組みを推進します。
具体的な取り組み	12 日ごろの声かけやあいさつによるご近所とのつながりや世代間交流、ボランティア活動の意義を積極的に広報・啓発する取り組みを推進します。

＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	小学生や中学生との交流 (各学区) (令和2年は、コロナで大半が中止)	農業指導や伝承あそびの指導や、高齢者へのふれあい年賀状、暑中見舞の作成、こども料理教室、小学校カーニバル、しめ縄づくり、あそびんぐ
学区福祉委員会	左義長等の交流会の開催 (笠取・笠取第二・岡屋・南部・小倉・槇島) (令和2年は、コロナで中止)	学校と協力した左義長や手作りコーナーの開催による三世代交流を行う。 ・左義長…岡屋、南部、小倉、槇島 ・三世代交流…笠取、笠取第二
学区福祉委員会	三世代交流「夏まつり」の開催 (笠取第二) (令和2年は、コロナで中止)	小学校を拠点に学区内全住民のふれあいや世代間交流を目的に夏まつりを開催する。
学区福祉委員会	学校農園による子どもたちへの農業指導 (南部)	学校内の農園や近隣の畑などで、子どもたち自身による稲、芋などを育てる体験学習を行う。
学区福祉委員会	施設との交流 (伊勢田) (令和2年は、コロナで中止)	一人暮らし高齢者の会食会や新年お楽しみ会を実施する際に、学区内のグループホーム「ナイスライフいせだ」「なごみの里 伊勢田」の利用者にも参加を呼びかけ、交流を深める。
学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への年賀状等による交流事業 (宇治・岡屋・南部・菟道・菟道第二・神明・大久保・西大久保)	小学生が地域の一人暮らし高齢者等に暑中見舞や年賀状を出すことで、地域の高齢者と子どもたちの心の交流を促す。
学区福祉委員会	子どもの居場所づくり事業への協力 (御蔵山・神明)	育成学級の土曜日開催の変わりである、子どもの居場所づくり事業への参加、協力。
学区福祉委員会	withコロナプロジェクトへの参画 (伊勢田)	PTA、青少協など、学区内の各種団体の協働により、地域住民、特に子どもたちへのマスク着用や消毒等を呼びかけが、身近な地域でのコロナ感染を防ぐためのポスター作成プロジェクトに参画。住民に顔写真の提供協力を依頼し、地域を挙げてコロナ感染予防を推進している。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	通所介護での世代間交流イベントの実施	通所介護の利用者(高齢者)と保育園児や小学生の課外活動交流、高校生の福祉ボランティアの受け入れ等、世代間の交流を図るイベントを実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込					
2020年度成果・実績 (令和元年度)		2021年度見込 (令和2年度)	2022年度見込 (令和3年度)	2023年度見込 (令和4年度)	
—		—	—	—	
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価	評価に対する説明				
—	—				

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

(2) 地域での世代間交流や学校での福祉体験学習等を通じて、「向こう三軒両隣」で支え合う福祉文化を育む取り組みを推進します。

具体的な取り組み	13	学校教育における福祉体験学習や、学区福祉委員会と連携した地域福祉活動を行う等、学校・地域・家庭が連携しながら、より実践的な福祉教育を推進します。また、市社協と協働しながら大学生等の地域交流活動を支援します。
----------	----	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	介護体験の受け入れ	介護・福祉の国家資格や教員免許取得のための実習生の受け入れ並びに福祉教育の一環としての世代間交流、職場体験として小・中学生の受け入れを行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	ボランティア講師の調整	学校や企業などからのボランティアや当事者団体による講演や学習依頼を受け、講師調整やプログラム作りを行っている。
宇治市社会福祉協議会	中学生と赤ちゃんのふれあい交流	市内5つの中学校の授業で、3年生を対象に赤ちゃんとの交流を行う。母親から子育ての嬉しさや苦労を聞き、自身への振りかえりと命の大切さ、将来のイメージを育てる。また母親にとっても今の中学生と接することで、子どもの将来のイメージを広げることや、地域活動へ参加してもらい足がかりとなっている。また、その際、携わっている民生児童委員や育友会員、子育てに関わるNPOと、乳幼児を子育て中の母親が話す機会を設けている。 昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、全校で中止となった。この事業を共に行っているNPO団体が、子どもと母親の足形、手形のメッセージを各中学校に送り命の大切さが生徒へと伝わった。
宇治市社会福祉協議会	西小倉地区社協と城南菱創高校・市社協の連携による高齢者への訪問活動	夏の一日、高校生が学区福祉委員と一緒に高齢者宅を見守り訪問することで、高齢者の笑顔や福祉委員の日頃の活動を知りきっかけとして実施し、ボランティア活動の大切さを育てている。
宇治市社会福祉協議会	京都文教大学との連携によるボランティア活動の促進	京都文教大学の「ボランティア演習」科目の業務委託を受け、施設や当事者団体に実習として、大学生を受け入れてもらいながら、大学生のボランティア活動のきっかけづくりを行っている。大学生が学内にとどまらない活動に参加することが目的で、演習終了後も継続してボランティア活動を続ける学生もいる。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市学校教育課	小・中学校「総合的な学習の時間」推進事業	学習指導要領の柱のひとつである「総合的な学習の時間」の実施に当たり、各学校の創意工夫による教材開発や地域の人材・資源を活用した多様な教育活動を支援する。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	各学校で国際(異文化)理解学習やキャリア学習等において、社会人講師による授業を実施するが、新型コロナ感染症の対応により対象数は減少した。	地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開	地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開	地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開	地域及び子どもの実態に応じて各学校が創意工夫し、特色ある教育活動を展開
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	各校において事業の実施可否を見極めながら事業を実施している。			

(2) 地域での世代間交流や学校での福祉体験学習等を通じて、「向こう三軒両隣」で支え合う福祉文化を育む取り組みを推進します。

具体的な取り組み	14 地域で支え合うしくみとして、ボランティア切符やエコマネー等の取り組みを推進します。
----------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	御蔵山ゆう輪蔵ぶ「ありがとう切符(蔵)」への支援 (御蔵山)	ありがとう切符「蔵」を介した、会員同士が自分の力で支え合える、地域助け合い活動を支援する。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	—	—	—	—	
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	—	—			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

大項目	(3) ボランティアの育成や活動を支援します。		
具体的な取り組み	15	市社協や福祉サービス公社、ボランティア活動センター等と連携し、ボランティア・NPOの育成や活動を支援します。	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	宇治ボランティア活動センター運営委員研修の開催	運営委員が活動センターでの役割を再認識したり、様々な場面でのボランティアコーディネート機能を発揮したりできるように研修会を実施。また、ボランティアによる助け合い、支え合い活動に関する協議と研修会を実施している。
宇治ボランティア活動センター	ボランティア(登録)団体への活動費等の助成と機材貸出し	ボランティア活動センター登録団体へ備品・活動費の助成を行ったり、機材の貸し出しを行ったりして団体活動の支援を行っている。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	高齢期支援システムとしての生涯学習(生きがいづくり)の企画実施	公社独自の「輝き支援事業」として、高齢期の生涯学習、生きがいづくり事業等の企画、実施を行う。
宇治市福祉サービス公社	福祉人材研修事業の受託や介護員養成講座(介護職員初任者研修課程)の実施	市内の介護保険事業所従事者、介護支援専門員等の資質の向上を図るため、宇治市の委託を受けて各種の研修を企画・実施する。
宇治市福祉サービス公社	福祉事業者・介護支援専門員向け研修の実施	公社独自事業として「ほほえみ介護塾」の名称で介護職員初任者研修課程の講座を実施する。
宇治市福祉サービス公社	地域支援活動等を目的としたNPO法人等の立ち上げ支援	地域で福祉活動に取り組んでいる団体への支援のため、「地域力助成事業」として(1)新規立ち上げ団体の助成(2)既存団体の定着応援助成を行い、福祉に取組む「地域力」の増大に寄与することを目的に、平成25年度から7年間で延19団体に支援した。助成事業は、令和元年度で終了し、今後は地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援の在り方等について検討する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	ボランティア保険の取り扱い	様々な地域福祉活動の実施者・団体に対し、ボランティア保険等の理解と適切な加入により、安心して、地域活動に取り組めるよう支援している。
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会視察研修の調整	先進事例や他団体との連携の方法を学び、学区福祉委員会活動の発展とより一層の福祉委員拡充のため、各学区福祉委員会による視察研修の調整を行っている。コロナ禍においては外部への視察研修は控え、内部研修の調整を行っている。
宇治市社会福祉協議会	宇治市学区福祉委員会連絡協議会への支援	地域福祉推進の重要な担い手である学区福祉委員会の相互連携の促進と、様々な活動を推進していくために組織化された連絡協議会を支援している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市障害福祉課	手話奉仕員養成講座開設事業	聴覚障害者の情報保障及びコミュニケーション支援に資する手話奉仕員を養成するため、手話奉仕員養成講座を実施する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績(令和2年度)	2021年度見込(令和3年度)	2022年度見込(令和4年度)	2023年度見込(令和5年度)	
	入門・基礎講座を開講し、延べ15名の受講があった。	入門・基礎講座を開講	入門・基礎講座を開講	入門・基礎講座を開講	
	◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明			
評価	A 今後も継続して開講していきたい。				

宇治市 長寿 生きがい課	<b>認知症地域支援事業</b> ①認知症あんしんサポーター養成講座 ②キャラバン・メイト養成講座	認知症高齢者とその家族を支援するために、認知症の正しい理解の普及・啓発のための講座を行う。その講座の講師であるキャラバン・メイトに対してフォローアップ講座を年2回実施する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 730人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 24人	認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 1,000人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 40人	認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 2,000人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 40人	認知症あんしんサポーター養成講座 延べ人数 2,000人 キャラバン・メイトフォローアップ講座 延べ人数 40人
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	認知症あんしんサポーター養成講座を継続することで、認知症について正しく理解する人は増えている。毎年キャラバン・メイトのフォローアップを行い、サポーターの資質向上を図っている。			
宇治市 公園緑地課	<b>まちかどふれあい花だん推進事業</b>	道路敷等の公的空間を花壇として町内会や喜老会等のボランティア団体に開放、花苗や肥料の提供を通じて地域活動の支援と緑化を推進する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	町内会、喜老会及びまちの美化・緑化活動をしているボランティア団体を対象に、花壇管理(62箇所)に必要な花苗・肥料等の支給を行った。	実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	メンバーの高齢化等を理由に花壇管理を辞退する団体があり、持続可能な体制作りが課題である。			
宇治市 公園緑地課	<b>みどりのボランティア推進事業</b>	市民参加による緑化推進を図るため、みどりのボランティアを養成し、活動を支援する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	植物公園、西宇治公園、黄檗公園、市役所北玄関の花壇管理を行ったほか、植物公園で苗作り、花壇管理、バラ園管理、ハーブ園管理、イベント協力などの活動を行った。ボランティア登録数は令和2年度末時点で70人。	実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	順調に事業実施できているが、ボランティア活動の幅を広げる手法等を検討する必要がある。			
宇治市 学校教育課	<b>図書館ボランティア養成事業</b>	学校図書館の充実を図るため、各校の図書館ボランティアの育成・協力を努める。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	コロナ禍により未実施	実施予定であったが緊急事態宣言により中止	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
—	新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じるため未実施			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

(3) ボランティアの育成や活動を支援します。

具体的な取り組み	16	ボランティア・NPO活動の情報や活動の魅力を伝え、参加者の増加に結びつく広報・啓発の取り組みを推進します。
----------	----	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	各学区福祉委員会における広報紙発行 (笠取・笠取第二を除く)	各学区福祉委員会が自らの広報紙を発行して、地域福祉活動の情報を発信を通じて、理解者を増やし、活動の担い手を増やしていく。 コロナ禍により、地域住民の声やつながりを絶やさないためのメッセージを掲載した特別号を発行する学区福祉委員会もあった。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	宇治ボランティア活動センターによるボランティア活動の啓発(広報紙パートナー発行等)	個人ボランティア制度を含め、実際のニーズとボランティアを調整。情報誌「パートナー」を発行したり、Facebook等のSNSを活用したりして、広く市民にボランティア活動への参加、協力呼びかけを行い、ボランティアの裾野を広げている。
宇治ボランティア活動センター	ボランティアフェスティバルの開催 (令和2年度はコロナ禍のため中止)	宇治ボランティア活動センターの登録グループと個人登録者の相互交流、ボランティア自身によるボランティア相談等を行い、新たな活動のコラボレーションの可能性を広げ、市内ボランティア活動のより一層の連携と広がりを持たせるために「ボランティアフェスティバル」を開催している。
宇治ボランティア活動センター	マスコットキャラクター(ゆるキャラ)の運用 (令和2年度はコロナ禍のため催し等が無く中止)	ボランティア活動の広報啓発の「助っ人」として、専属のマスコットキャラクター「ウッチー」を作成。施設等の催しを通じて、ボランティア活動への参画を呼び掛けた。
宇治ボランティア活動センター	京都文教大学ボランティア演習の学生受入れ (令和2年度はコロナ禍のため秋学期より再開)	京都文教大学でボランティア演習の授業を選択した学生の実習受入れを通じて、ボランティア活動への理解促進を図っている。
宇治ボランティア活動センター	宇治福祉まつりへの参加 (令和2年度は福祉まつり未実施のため中止)	宇治福祉まつりへの参加を通じて、ボランティア活動のPRを行っている。
宇治ボランティア活動センター	登録団体活動紹介冊子作成	当センター登録ボランティア団体とコラボ団体の活動をまとめた「活動紹介冊子」を作成した。ボランティア・市民活動・生涯学習・地域活動など幅広い分野で活動している団体の相互連携を図り、また、市民の関心を引き出す工夫を凝らし、市民の活動参加をさらに推し進める。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会連絡協議会による『学区福祉委員強化月間の取組み』支援	学区福祉委員会との協働により、これからの地域福祉活動の担い手づくりとして「学区福祉委員強化月間」を定め、学区福祉委員の拡充を図っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込					
2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
—		—	—	—	
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

## (3) ボランティアの育成や活動を支援します。

具体的な 取り組み	17 企業による企業市民活動(社会貢献活動)が活性化するような取り組みを進めます。
--------------	---

## &lt;具体的な取り組みの実施状況&gt;

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	社会福祉協議会の会員募集 (事業所会員等)	各学区福祉委員会と連携して、住民(戸別)、事業所会員募集の他、団体・施設・賛助会費の呼びかけを行い、社協の自主財源の確保とともに、市民に、様々な形で福祉活動に協力いただくための投げかけを行っている。
宇治市社会 福祉協議会	企業の社会貢献及び地域福祉活動財源強化のための自動販売機設置推進	企業の社会貢献を進める観点から、様々な法人や事業所等の理解を得ながら飲料用自動販売機の設置を進め、その利益を地域福祉活動、ボランティア活動の拡充に活用する。
宇治市社会 福祉協議会	異業種とのネットワークづくり事業	住民に改めて木幡地域を知り、自分の住む地域に関心を持ってもらうことを目的に、木幡学区内の地域活動を行っている拠点や史跡を巡る「木幡学区ウォークラリー」を実施した。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込					
2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
—		—	—	—	
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

大項目	(4) 地域福祉活動の基盤となる地域コミュニティの育成を推進します。		
具体的な取り組み	18	町内会・自治会の存在意義を住民に周知・広報するとともに、町内会・自治会等が行う未加入者に対する加入促進の取り組みを支援します。	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	—	—	—	—	
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
—	—				

## (4) 地域福祉活動の基盤となる地域コミュニティの育成を推進します。

具体的な取り組み	19 町内会・自治会だけでなく、地域のサークルやNPO等、地域で行われる多様なコミュニティ活動を支援します。
----------	--

## &lt;具体的な取り組みの実施状況&gt;

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	ジュニア和太鼓サークルの育成 (大久保)	地域の1～6年生を対象とした和太鼓の練習会を実施するとともに、地域行事などにも成果を発表するなど、子どもたちのふれあいの心を育成する。
学区福祉委員会	高齢者施設への支援 (御蔵山・菟道・菟道第二・大開・小倉・平盛・伊勢田・西小倉地区社協)	ハーモニーこはた、宇治やすらぎの家、天ヶ瀬苑、白川明星園、ヴィラ鳳凰・小倉明星園・平盛デイ、伊勢田明星園、まごころ西宇治などが開催するイベントへの参画・協力を行う。
学区福祉委員会	障害者施設への支援活動 (宇治・南部・三室戸・菟道第二・小倉・横島・西大久保・平盛・伊勢田・北横島・西小倉地区社協)	各施設が行うバザーに物品を提供したり、イベントに参加・協力することで、精神的なバリアフリー活動の支援を行う。また、授産施設の商品販売の支援など障害者施設活動の支援を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	在宅保健サービスについての知識の普及・啓発事業	公社事業の紹介や介護保険、福祉情報を掲載した情報誌の発行、各種講演会や研修講座等へ職員を派遣し、在宅保健福祉サービスについての知識の普及・啓発を行う。
宇治市福祉サービス公社	地域団体等との連携・協力を積極的に関わる	宇治市や宇治市社会福祉協議会をはじめとする地域の様々な専門機関、地域団体と連携し、地域課題の解決にあたる。公社内部で地域密着型事業推進委員会を設け、地域で活動する市民や福祉団体等との連携・協力を努める。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	備品の貸出し	町内会・自治会、福祉活動団体等におけるイベント交流事業等に活用できる機器材(テント、長机、イス、ポップコーン、綿菓子、たこ焼き器等)の無償貸し出しを実施している。
宇治市社会福祉協議会	赤い羽根コラボ助成金事業への支援 (宇治市共同募金委員会との連携)	市内における福祉のまちづくり事業を推進するために、宇治市共同募金委員会が実施するコラボ助成金事業への情報連携・事務支援等を行った。助成内容は、公募により1件20,000円の運営費助成と50,000円を上限とした地域福祉活動が対象。新規事業に関しては2万円～10万円の間で支援を行った。
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会活動への支援	地区担当職員の配置により、地域に根差した学区福祉委員会活動が展開されるよう、アドバイスや情報提供、ボランティアの紹介、自治会・町内会との連携調整などの支援をしている。コロナ禍において、地域での行事開催が難しい中でも、高齢者等への見守り活動を中心に、人と人との繋がりを絶やさないための活動が継続できるよう支援している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 自治振興課	地域コミュニティ活動支援事業	地域コミュニティの活性化に向けて、地域コミュニティ活動の支援に取り組み、その役割及び重要性について意識の浸透を図る。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		未来の視点で考える「フューチャー・デザイン」の手法を用いたシンポジウム及びワークショップを開催し、地域コミュニティについて市民が主体的に考える機会を創出した。	地域ごとのワークショップに向けた取組を実施するとともに、地域コミュニティ活性化事業補助金を開始する。	地域ごとのワークショップ及び地域コミュニティ活性化事業補助金を実施する。	地域ごとのワークショップ及び地域コミュニティ活性化事業補助金を実施する。
	◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明			
	評価	評価に対する説明			
	A	「フューチャー・デザイン」の手法を用いて、地域コミュニティの活性化に向けて市民意識の醸成を図るため、シンポジウム及びワークショップを実施した。			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

大項目	<b>(5) 地域福祉活動や交流の拠点整備を推進します。</b>		
具体的な取り組み	20	地域福祉活動や交流の拠点として、総合福祉会館や地域福祉センター、隣保館、集会所、公園等の公共施設がより気軽に使いやすくなる取り組みや、学校施設や福祉施設、空き店舗等を地域の交流の拠点として活用できるよう、条件整備を推進します。	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域福祉センター管理運営事業	公社が指定管理を受託している地域福祉センターを、地域の福祉団体や住民との協働により、地域福祉の拠点として、また地域密着型の利用しやすい活動、交流の拠点となるよう適切な維持・管理・運営を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	宇治市総合福祉会館の管理運営	市内に居住する高齢者及び身体障がい者の福祉の増進に寄与するとともに、社会福祉関係団体やボランティア活動団体の活動拠点としての利便に供するため、宇治市総合福祉会館を管理運営する。
宇治市社会福祉協議会	福祉活動拠点の整備と活用	理容アズマの空き店舗の活用による地域福祉活動拠点の整備を行っている。コロナ禍の影響もあり、年度内の拠点改修には至らなかったが、利用予定団体と工事請負企業と現場で改修打合せを行い、図面を作成していただいた。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市産業振興課	空き店舗活用支援事業	商店街にある空き店舗を活用することで、商店街の活性化が図られるとともに、地域交流拠点としての役割を果たしている。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		令和2年度においては利用がなく、事業の実績はなかった。	各商店街に呼びかけ、積極的な活用を促すよう努める。	各商店街に呼びかけ、積極的な活用を促すよう努める。	各商店街に呼びかけ、積極的な活用を促すよう努める。
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	B	令和2年度については利用実績がなかったが、空き店舗の利用促進のため、各商店街に呼びかけ、制度の周知を徹底する必要がある。			

宇治市 人権啓発課	<b>コミュニティワークうじ館 ・こはた館運営事業</b>		福祉の向上と人権啓発のための市民活動・市民交流を促進するため、地域福祉の推進を図るための事業や各種人権啓発交流事業を行う。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	◎コミュニティワークうじ館・こはた館地域福祉活動推進事業の実施 地域福祉の推進を図るため、相談事業や学習講座開催事業、隣保館デイサービス事業を実施した。 ◎コミュニティワークうじ館・こはた館啓発交流活動推進事業の実施 「人権尊重理念の普及」と「さまざまな人権問題の解決」に向け、交流講座の開催や人権啓発イベントの開催事業を実施した。		実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		各種人権啓発交流事業等に取り組んだことにより、市民交流及び地域活動の促進を図ることができた。利用者も徐々に増えているが、さらなる利用者増を含め、今後も効果的な取組を検討する必要がある。			
宇治市 教育支援課	<b>放課後子ども教室支援事業</b>		平日の放課後及び土曜日の午前中に、地域の参画を得て、子どもに安全・安心な居場所を提供するとともに、子どもが、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を通じて、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものである。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	北槇島小学校で実施している「放課後学習会&北槇っ子くらぶ」では、12回開催し、延べ240人の参加があった。笠取第二小学校で実施している「笠二っ子クラブ」では、183回開催し、延べ899人の参加があった。平盛小学校で実施している「まなび(宿題)教室」では、146回開催し、延べ2,607人の参加があった。		放課後子ども教室の新規開設未定。	放課後子ども教室の新規開設未定。	放課後子ども教室の新規開設未定。
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価		評価に対する説明			
B		教室を持続するには地域に安定した協力体制があることが重要であり、複数校への広がりには難しいのが現状であるが、今後は地域学校協働活動を推進していくなかで、積極的に子どもを地域で育てるための取組を進めていく必要がある。			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

(5) 地域福祉活動や交流の拠点整備を推進します。

具体的な取り組み	21 地域にある既存の公共施設を適切に維持管理し、計画的に整備・改修します。
----------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要		
宇治市自治振興課	<b>集会所維持管理事業</b>	地域住民のコミュニティ活動の場となる集会所の維持管理を行う。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	集会所の改修・修繕を実施した。また、地域コミュニティ再編計画(以下、計画という。)に基づき、地域による主体的な集会所運営の推進や耐震改修等を行った。			
◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
A	市が管理する集会所について、必要に応じて改修・修繕を実施し、耐震性能を有していない集会所については、耐震改修等を行った。			
宇治市生涯学習課	<b>野外活動センター管理運営事業</b>	「自然とのふれあい、自然の中での交流」をテーマに、青少年をはじめ、すべての市民が利用できる総合的な野外活動施設、総合野外活動センター「アクトパル宇治」の施設管理を行うとともに、センターの各施設を利用した野外活動、宿泊研修、スポーツ活動などの様々な活動を展開する。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	(公財)野外活動センターを指定管理者として、施設の管理・運営を行った。野外活動に関する事業を通じて、青少年の豊かな感性を育むとともに、市民のふれあいの場を提供するなど、生涯学習の推進を図った。また、平成11年度から令和2年度までの延べ利用者数は約190万人となった。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休所・利用制限を実施したことから利用者数は大幅に減少した。			
◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明			
A	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて利用者数は減少したものの、感染症対策を講じながら、指定管理者により適正に管理・運営を行っている。今後も様々な野外活動を通じて、生涯学習の充実に努める。			

大項目	(6) 地域福祉活動を支える基盤として、寄付文化の醸成に努めます。
具体的な取り組み	22 社協活動をはじめとする地域福祉活動を支える基盤として、募金活動に積極的に取り組みます。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	赤い羽根共同・歳末募金への協力活動 (全21学区) (R2年はコロナにより街頭募金は中止)	街頭募金での啓発活動をはじめ、各種資材募金、戸別募金への協力を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	共同・歳末募金への協力活動事業	街頭募金活動を始め、公社が主催する各種事業において、募金箱を設置するなど協力を呼び掛ける。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会 (宇治市共同募金会)	赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の実施協力	民間の社会福祉活動の財源として、市共同募金委員会が実施主体となり毎年10月から12月末日(申請により3/31まで延長可)までの3ヶ月間、市内一円で赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動を展開している。 町内会や自治会、企業、施設、病院、各地域の福祉活動団体にも呼びかけ、募金への理解、協力を求める。また、市内小・中学校の一部と民間保育園連盟の協力で、生徒や園児とその家族へ組立式募金箱を配布し、協力を呼びかけている。(令和2年度はコロナ禍により、市内一円での街頭募金は中止)
宇治市社会福祉協議会	ふれあい基金・ボランティア基金の運営	地域福祉活動やボランティア活動の財源確保を市民参画で推進するため、「ふれあい基金」及び「ボランティア基金」を運営する。
宇治市社会福祉協議会 (宇治市共同募金会)	自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置	共同募金運動推進のため、京都市内初となる飲料自動販売機型募金箱を宇治市総合福祉会館前に平成19年3月から設置している。現在3台のハートフルベンダーが稼働中。
宇治市社会福祉協議会	災害時支援活動準備金の運営	市内外で災害時におけるボランティア活動や被災者支援活動を支える資金として呼びかけ、理解、協力を求める。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込					
2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
—		—	—	—	
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

2. 地域福祉活動への住民参画の推進

(6) 地域福祉活動を支える基盤として、寄付文化の醸成に努めます。

具体的な 取り組み	23 募金や寄付の用途を明確にする等、理解を得るための広報・啓発に取り組みます。
--------------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	イオン黄色いレシートキャンペーン への参加 (令和2年度はコロナ禍のため店頭PRは中止)	毎月11日に行われる、「イオン黄色いレシートキャンペーン」に参加。買い物客から黄色いレシートの協力をいただけるよう運営委員が店頭入口に立ち、ボランティア活動センターのPRを実施。レシートの総額の1%の額で、ボランティア活動センターやボランティア活動団体に必要な機材等を購入している。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		—	—	—	—
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	—	—			

柱	<b>3. ゆるやかな支え合い</b> 支援が必要な人を地域でゆるやかに支え合いながら、困りごとがあったとき、いざというときには迅速に対応できる地域での支え合いネットワークづくりを推進します。
---	---

大項目	(1) 支援が必要な人を、一人ひとりの考え方や生活スタイルの違いを尊重しながら見守っていくための取り組みを推進します。
具体的な取り組み	24 認知症や障害をはじめとした福祉課題についての正しい理解の促進や広報・啓発に積極的に取り組むとともに、当事者組織の結成やその活動を支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	「バリアフリー映画」の上映 (令和2年度はコロナ禍のため中止)	バリアフリーのまちづくりを目指し、みんなが共に楽しめるように「バリアフリー映画」の上映会を毎年開催し、ボランティアによる字幕、副音声、保育付きの映画を上映することで、市民みんなが楽しめるようにしている。
宇治ボランティア活動センター	おもいの駅伝の開催 (令和2年度はコロナ禍のため中止)	宇治ボランティア活動センターの事業として「おもいの駅伝」と名付けた、障がいのある方とその関係者の理解促進と相互交流の場づくりを行っている。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	情報誌等による事業内容の紹介	広報誌「ぼっぼ」を発行し、高齢者介護・介護予防等の情報提供に努める。
宇治市福祉サービス公社	障害者・高齢者への理解を深めるための各種講座などの取り組み	「地域福祉のつどい」や認知症予防講座、市民シンポジウム等の開催や各種団体からの講師派遣依頼に積極的に対応する。
宇治市福祉サービス公社	初期認知症総合相談支援事業	初期認知症の人や家族に対して、状況に応じた適切な医療、介護等の連携を図り、必要となる社会資源を構築する為の事業を実施。 ・認知症コーディネーターの設置と本人・家族への支援 ・認知症対応型カフェの企画・運営による支援
宇治市福祉サービス公社	認知症初期集中支援チーム事業	認知症の人やその家族が住み慣れた地域で、生活を維持できるように医療・福祉の専門職がアウトリーチにより得た情報をもとに、認知症疾患医療センター等の専門医と連携により集中的に支援する。
宇治市福祉サービス公社	宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」の事務局業務	「宇治市認知症アクションアライアンス「れもねいど」」の事務局の委託業務を受ける。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	在宅高齢者介護者リフレッシュ事業による介護者支援	宇治市からの受託事業。同じ介護者同士が交流できる場を設け、介護者の日頃の労苦を労う。また介護者家族の会の紹介等を通じて、介護当事者団体の支援につなげている。

3. ゆるやかな支え合い

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 長寿 生きがい課	<b>自</b> 認知症家族介護者支援事業 ①認知症家族支援プログラム ②認知症家族支援プログラムOB会	認知症家族支援プログラムやOB会を通して認知症の人を介護する家族を支援する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	①認知症家族支援プログラム 延べ人数 66人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 61人		①認知症家族支援プログラム 延べ人数 60人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 100人	①認知症家族支援プログラム 延べ人数 60人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 100人	①認知症家族支援プログラム 延べ人数 60人 ②認知症家族支援プログラムOB会 延べ人数 100人
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		①認知症家族支援プログラムは、参加者を、在宅で初期又は中等度の認知症の人を現在介護している人と限定していることもあり、参加者の中には、毎回続けて参加することが難しい人もいる。参加者家族の個別状況に応じた内容であること、介護者同士のピアカウンセリングにより介護疲労の軽減、介護意欲の向上につながっているため、参加者の満足度は高い。 ②認知症家族支援プログラムOB会は、参加者数が安定しており、継続した介護者同士のピアカウンセリングの場になっている。			
宇治市 長寿 生きがい課	<b>自</b> 初期認知症総合相談支援事業 ①初期集中支援チーム ②認知症対応型カフェ	認知症コーディネーターを配置し、認知症対応型カフェ(れもんカフェ)の企画及び認知症初期集中支援チームの設置、お元気チェックリスト該当者訪問を行う。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	認知症コーディネーター 3人配置 認知症対応型カフェ(れもんカフェ) 30回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 43人		認知症コーディネーター 3人配置 れもんカフェ 36回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 60人	認知症コーディネーター 3人配置 れもんカフェ 36回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 60人	認知症コーディネーター 3人配置 れもんカフェ 36回 認知症初期集中支援チーム対応実人数 60人
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		認知症の人とその家族が住み慣れた地域で継続して生活できるよう、認知症の初期の支援策を構築した。認知症の初期の人が、重度化する前に支援者と出会い、支援につながるために引き続き実施する。			

(1) 支援が必要な人を、一人ひとりの考え方や生活スタイルの違いを尊重しながら見守っていくための取り組みを推進します。

具体的な取り組み	25 ふれあいサロン活動等、地域とのつながりづくりを支援します。
----------	----------------------------------

## &lt;具体的な取り組みの実施状況&gt;

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	公園サロンの開催 (御蔵山)	子どもから高齢者まで、気兼ねなく集える公園サロンを月1回開催し、高齢者のみならず、小学生のボランティアなど世代を超えて社会とのつながりを持てる場として広がりをもたせる。
学区福祉委員会	福祉農園の運営 (小倉)	高齢者の社会参加、健康増進のきっかけづくりの他、子どもから高齢者までの市民が交流できる場として福祉農園を運営管理する。
学区福祉委員会	ふれあい茶店の開催 (三室戸) (令和2年は、コロナで中止)	三室戸寺付近の駐車場を開放して茶店を開催し、学区内の高齢者や介護者を対象に優待するとともに、他の障害者施設の出店の手伝いを行う。
学区福祉委員会	ふれあいサロンの開催及び支援 (御蔵山・宇治・岡屋・南部・三室戸・菟道・菟道第二・神明・大開・大久保・西大久保・平盛・伊勢田・南小倉・北小倉・小倉・槇島・北槇島)	ブロック単位でふれあいサロンを開催するとともに、学区直轄でないサロンとも連携して、高齢者の閉じこもり予防に取り組む。サロン交流会の開催によるサロン同士のつながりづくり。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	Hot! ふれあいサロンへの支援 (宇治市共同募金委員会との連携)	地域における孤立を予防するため、住民が手作りで開くサロン事業に対し、情報提供や相談、補助金の交付などを行う。参加者が情報を共有するとともに、心配ごとを参加者やボランティアに相談できる居場所づくりとなっている。(サロン助成は宇治市共同募金委員会が実施)

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市長寿生きがい課	一人暮らし高齢者等給配食サービス補助金	(福)宇治市社会福祉協議会の実施している給配食サービス事業(学区福祉委員会等が概ね65歳以上の在宅の一人暮らし高齢者に対し、会食または配食サービスを実施)に対し、補助金を交付する。			
	◆成果・実績及び見込	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	一人暮らしの高齢者等との交流を目的に、地区社協・学区福祉委員会が実施する給配食サービス事業に使用される材料費の一部を助成し、一人暮らし高齢者等福祉の向上に努めた。 給配食数 4,558食		実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明			
	評価	B 計画的に事業を実施しており、次年度以降も継続して実施する。また、補助内容や助成額については継続して検討を行う。			

3. ゆるやかな支え合い

(1) 支援が必要な人を、一人ひとりの考え方や生活スタイルの違いを尊重しながら見守っていくための取り組みを推進します。

具体的な取り組み	26 犯罪被害者等が受けた被害の回復及び軽減を図るための取り組みとして、広報活動を推進します。
----------	---

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 総務課	<b>自</b> 犯罪被害者等支援事業	犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう、相談に応じたり、他機関との連携を図ったり状況に応じた適切な支援を行う。			
	◆成果・実績及び見込み				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		京都府主催の研修会等に積極的に参加した。 また、犯罪被害者週間(11月25日～12月1日)に合わせ、FMうじでの啓発スポットCMの放送や市職員及び市民を対象としたホンデリングプロジェクトを実施した。 なお、犯罪被害者等見舞金は遺族・傷害見舞金いずれも支給はなかった。	犯罪被害者週間における啓発やホンデリングプロジェクトなどの実施 (公社)京都犯罪被害者支援センターと緊密に連携した取組の実施	犯罪被害者週間における啓発やホンデリングプロジェクトなどの実施 (公社)京都犯罪被害者支援センターと緊密に連携した取組の実施	犯罪被害者週間における啓発やホンデリングプロジェクトなどの実施 (公社)京都犯罪被害者支援センターと緊密に連携した取組の実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	<b>B</b>	犯罪被害者週間に合わせ、FMうじでの啓発スポットCMの放送やホンデリングプロジェクトを実施することで犯罪被害者等への支援に取組んだ。今後、より一層の犯罪被害者等への理解の浸透に向け、関係機関との連携体制の強化や効果的な啓発の実施手法等について検討が必要である。			

大項目	(2) 地域での見守り等を通じて、孤立を未然に防ぐ地域づくりを推進します。		
具体的な取り組み	27	地域での見守り等を通じて、様々な情報や事例を共有し、関係機関との連携体制を強化する取り組みを推進します。	

＜具体的な取り組みの実施状況＞

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	敬老のつどい開催 (笠取第二・神明・西大久保・西小倉地区社協) (令和2年は、コロナで中止)	各種団体と連携して学区単位での敬老会を実施している。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	地域ひとつなぎ事業助成	京都府社会福祉協議会の助成金を活用して、市内の各種団体(学区福祉委員会に限らない)が行っている高齢者等の見守り活動を行う団体への支援を行っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込					
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		—	—	—	—
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

3. ゆるやかな支え合い

(2) 地域での見守り等を通じて、孤立を未然に防ぐ地域づくりを推進します。

具体的な取り組み	28 地域での見守り等を通じて、近年社会問題となっている虐待やDV、孤独死・自殺の防止、ひきこもり対策等への支援の取り組みを推進します。
----------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への訪問活動 (木幡・宇治・南部・岡屋・菟道・菟道第二・神明・大開・大久保・西大久保・平盛・伊勢田・西小倉地区社協・小倉・槇島)	一人暮らし高齢者の安否確認・閉じこもり防止を兼ねて学区福祉委員による月1回以上の声かけ・見守り活動を実施する。
学区福祉委員会	一人暮らし高齢者の見守り訪問活動 (平盛)	連合自治会、学区福祉委員会など各種団体との連携により発足した「心ぼかぼか和みの会」による見守り訪問活動を実施する。
学区福祉委員会	高齢者見守り活動の強化 (菟道第二)	地域で高齢者を見守る体制づくりを促進させるために、生活支援コーディネーターや自治会、民生委員との連携による琵琶台地区での地域ケア会議に参画している。
学区福祉委員会	歳末ふれあい事業の実施 (全21学区) (令和2年は、コロナにより例年の取組みはほぼ中止)	12月～1月にかけて、各学区にて新年会食会・おせち料理の配食等を通じて、歳末の見守り・声かけを実施する。その他、左義長等、子どもから高齢者までが交流できる催しを実施する地域もある。コロナ禍において、閉じこもりがちになっている高齢者に、身近な集会所に立ち寄ってもらい、お弁当等を渡しなが、久しぶりに顔を合わせる機会づくりを行った学区もある。
学区福祉委員会	一人暮らし高齢者等への給配食サービス (御蔵山・宇治・岡屋・南部・三室戸・菟道・菟道第二・神明・大開・大久保・西大久保・平盛・伊勢田・西小倉地区社協・小倉・槇島・北槇島) (令和2年は、コロナにより会食会は全て中止。配食については、一部の学区のみで継続)	身近な施設を利用し、高齢者同士やボランティアとの交流を目的に会食会を実施する。また配食による、身近な住民同士の声かけ活動を行う。コロナ禍において、閉じこもりがちになっている高齢者に、身近な集会所に立ち寄ってもらい、お弁当等を渡しなが、久しぶりに顔を合わせる機会づくりを行った学区もある。また、これまでの会食会を配食に切り替えて取り組みを継続している学区福祉委員会もある。
学区福祉委員会	「命のカプセル」の配布・訪問活動の強化 (南部)	一人暮らし高齢者等を対象に救急医療情報キット「命のカプセル」を配布し、消防署との連携により救急搬送時に役立てる。年1回の情報更新を目的に訪問することで、日常の見守り活動を強化する。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	一人暮らし高齢者等への訪問活動への支援	声かけ訪問、安否確認、見守りなどを通じて、一人暮らし高齢者のSOSを発見するための小地域福祉活動を支援している。コロナ禍においても、電話での声かけや配食などを通じて、地道な活動を継続している。
宇治市社会福祉協議会	児童虐待防止ネットワークへの参画	児童の虐待を未然に防ぐために設けられたネットワーク会議へ参加するとともに、学区福祉委員会などと連携した活動を推進している。
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会による一人暮らし老人等への声かけ、見守り活動を媒介にしたネットワークづくり	一人暮らし高齢者等への訪問、声かけ活動をきっかけとして、民生児童委員、喜老会、一人暮らし高齢者の会、自治会・町内会活動との連携を図っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 男女共同 参画課	DV対策事業	DVの早期発見と発見時の一時保護等の対応を迅速かつ正確に行うため、関係機関や市関係課とのネットワークを築き情報交換や事例研究を行う。「女性のための相談」の中で、DV被害に対する相談も受け付ける。また、DV被害者への支援として生活資金緊急貸付等にも取り組む。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	「宇治市DV対策ネットワーク会議」を1回(書面)開催し、関係機関・団体の相互連携を図ると共に、庁内関係課で構成する「女性のための相談担当者ネットワーク会議」を開催し、DV被害者に関する情報の共有と事例の研究等を通じてDV防止及び被害者の保護・支援に努めた。また、相談コーディネーターを配置し、ケース会議や適切な情報提供等により効果的な被害者支援を行った。女性のための相談 一般相談215件、専門相談104件	実施	実施	実施	
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	新型コロナウイルス感染症対策のため、「宇治市DV対策ネットワーク会議」は書面での開催となった。引き続き関係機関等との連携強化を図る必要がある。				
宇治市 ごみ減量 推進課	ふれあい収集	高齢や障害により自ら定点までごみを出すことが困難であり、他者の協力を得られない世帯を対象に戸別訪問し、ごみ収集を行うことで負担軽減を図る。あわせて安否確認も行う。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	2009年度に試行実施し、2010年度より本格実施しており、2020年度末の利用者件数は437世帯となった。介護が必要な方や身体に障害がある方など、ごみ収集場所へのごみ出しが困難な世帯に対して、戸別収集を行った。また、希望者には声掛けを行っている。2020年度より、産後ケア事業対象者も対象に追加した。	実績等により推計して、440世帯の利用を見込む	実績等により推計して、450世帯の利用を見込む	実績等により推計して、460世帯の利用を見込む	
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	高齢社会の進展に伴い、市民にとっても好評な事業であることから今後も継続して実施していく。2020年度4月に実施要項を一部改正し対象範囲の拡大を図ったところであるが、市民ニーズに応じてよりよいサービスが提供できるよう、今後も継続して対象範囲や収集体制等を検討していきたい。				

3. ゆるやかな支え合い

宇治市 地域福祉課	<p><b>自 自殺対策事業</b></p> <p>自殺の防止及び自殺につながる悩み等の解決に向け、積極的に広報・啓発することで、市民に自殺が身近な問題であることを認識してもらう。</p>							
	<p>◆成果・実績及び見込</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020年度成果・実績 (令和2年度)</th> <th>2021年度見込 (令和3年度)</th> <th>2022年度見込 (令和4年度)</th> <th>2023年度見込 (令和5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>【庁内連携】 宇治市自殺対策推進本部会議の開催(令和2年7月21日) 庁内連絡会議の開催(令和2年8月12日)</p> <p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじでの広報 市政だより 9月1日号「9月10日～16日は自殺予防週間」 12月15日号「ゲートキーパー入門講座」 3月1日号「3月は自殺対策強化月間です」 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・自殺相談窓口等を掲載した啓発・周知チラシの作成、配付 ・市民向けのゲートキーパー研修の実施 日 時:令和3年2月6日 講 師:NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏 参加者:26名 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催(3月) 日 時:令和3年3月14日 テーマ:「ひとりぼっちにならない・させない コミュニケーション の心理学」 講 師:伊東 優さん (宇治おうばく病院 臨床心理士・公認心理師) 参加者:41人(女性30人、男性11人) うち、会場参加17人(女14、男3)、 オンライン参加24人(女16、男8)</p> </td> <td> <p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・市職員、市民向けのゲートキーパー研修の実施 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催(3月)</p> </td> <td> <p>【会議・研修会への参加】 京都府の自殺対策担当者会議等へ参加 【庁内連携】 宇治市自殺対策推進本部会議、庁内連絡会議の開催 【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・市職員及び関係団体等へのゲートキーパー研修 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催 【自殺対策事業】 計画に基づく各種事業実施の検討</p> </td> <td> <p>【会議・研修会への参加】 京都府の自殺対策担当者会議等へ参加 【庁内連携】 宇治市自殺対策推進本部会議、庁内連絡会議の開催 【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・市職員及び関係団体等へのゲートキーパー研修 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催 【自殺対策事業】 計画に基づく各種事業実施の検討</p> </td> </tr> </tbody> </table>	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	<p>【庁内連携】 宇治市自殺対策推進本部会議の開催(令和2年7月21日) 庁内連絡会議の開催(令和2年8月12日)</p> <p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじでの広報 市政だより 9月1日号「9月10日～16日は自殺予防週間」 12月15日号「ゲートキーパー入門講座」 3月1日号「3月は自殺対策強化月間です」 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・自殺相談窓口等を掲載した啓発・周知チラシの作成、配付 ・市民向けのゲートキーパー研修の実施 日 時:令和3年2月6日 講 師:NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏 参加者:26名 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催(3月) 日 時:令和3年3月14日 テーマ:「ひとりぼっちにならない・させない コミュニケーション の心理学」 講 師:伊東 優さん (宇治おうばく病院 臨床心理士・公認心理師) 参加者:41人(女性30人、男性11人) うち、会場参加17人(女14、男3)、 オンライン参加24人(女16、男8)</p>	<p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・市職員、市民向けのゲートキーパー研修の実施 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催(3月)</p>	<p>【会議・研修会への参加】 京都府の自殺対策担当者会議等へ参加 【庁内連携】 宇治市自殺対策推進本部会議、庁内連絡会議の開催 【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・市職員及び関係団体等へのゲートキーパー研修 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催 【自殺対策事業】 計画に基づく各種事業実施の検討</p>
2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)					
<p>【庁内連携】 宇治市自殺対策推進本部会議の開催(令和2年7月21日) 庁内連絡会議の開催(令和2年8月12日)</p> <p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじでの広報 市政だより 9月1日号「9月10日～16日は自殺予防週間」 12月15日号「ゲートキーパー入門講座」 3月1日号「3月は自殺対策強化月間です」 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・自殺相談窓口等を掲載した啓発・周知チラシの作成、配付 ・市民向けのゲートキーパー研修の実施 日 時:令和3年2月6日 講 師:NPO法人ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内 志津香 氏 参加者:26名 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催(3月) 日 時:令和3年3月14日 テーマ:「ひとりぼっちにならない・させない コミュニケーション の心理学」 講 師:伊東 優さん (宇治おうばく病院 臨床心理士・公認心理師) 参加者:41人(女性30人、男性11人) うち、会場参加17人(女14、男3)、 オンライン参加24人(女16、男8)</p>	<p>【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・市職員、市民向けのゲートキーパー研修の実施 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催(3月)</p>	<p>【会議・研修会への参加】 京都府の自殺対策担当者会議等へ参加 【庁内連携】 宇治市自殺対策推進本部会議、庁内連絡会議の開催 【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・市職員及び関係団体等へのゲートキーパー研修 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催 【自殺対策事業】 計画に基づく各種事業実施の検討</p>	<p>【会議・研修会への参加】 京都府の自殺対策担当者会議等へ参加 【庁内連携】 宇治市自殺対策推進本部会議、庁内連絡会議の開催 【広報・啓発活動】 ・市政だより、HPへの啓発記事掲載(年3回)及びFMうじによる広報 ・市内3図書館及びゆめりあうじでの図書展示(9月・3月) ・市職員及び関係団体等へのゲートキーパー研修 ・男女共同参画課と合同で自殺対策関連セミナーを開催 【自殺対策事業】 計画に基づく各種事業実施の検討</p>					
◆2020年度(令和2年度)の評価								
評価	評価に対する説明							
B	令和2年3月策定の「宇治市自殺対策計画」にもとづき、自殺対策に向けた取組を実施できた。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響により当初予定していたセミナーが一部中止となった。							
宇治市 地域福祉課	<p><b>自 ひきこもり相談窓口設置事業</b></p> <p>ひきこもりに関する身近な相談窓口の設置、ひきこもりに関する支援団体等のネットワークの構築及び啓発事業を実施することで、ひきこもり状態にある人や家族が相談しやすい環境を作り、ひきこもりについて市民や福祉関係者の理解を深めるとともに、相談に来た人を必要な支援につなげる。</p>							
	<p>◆成果・実績及び見込</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>2020年度成果・実績 (令和2年度)</th> <th>2021年度見込 (令和3年度)</th> <th>2022年度見込 (令和4年度)</th> <th>2023年度見込 (令和5年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 相談回数:107回 ②相談当事者対象の居場所づくり 実施回数:6回 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議 宇治市不登校・ひきこもり支援連絡会議 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施 「宇治市ひきこもり相談窓口」相談員研修(個人情報保護に係る研修) 宇治市関係各課ひきこもり支援研修 宇治市不登校・ひきこもり支援研修</p> </td> <td> <p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 ②相談当事者対象の居場所づくり:12回以上 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議:2回以上 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施:4回以上</p> </td> <td> <p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 ②相談当事者対象の居場所づくり:12回以上 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議:2回以上 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施:4回以上</p> </td> <td> <p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 ②相談当事者対象の居場所づくり:12回以上 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議:2回以上 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施:4回以上</p> </td> </tr> </tbody> </table>	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	<p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 相談回数:107回 ②相談当事者対象の居場所づくり 実施回数:6回 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議 宇治市不登校・ひきこもり支援連絡会議 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施 「宇治市ひきこもり相談窓口」相談員研修(個人情報保護に係る研修) 宇治市関係各課ひきこもり支援研修 宇治市不登校・ひきこもり支援研修</p>	<p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 ②相談当事者対象の居場所づくり:12回以上 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議:2回以上 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施:4回以上</p>	<p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 ②相談当事者対象の居場所づくり:12回以上 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議:2回以上 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施:4回以上</p>
2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)					
<p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 相談回数:107回 ②相談当事者対象の居場所づくり 実施回数:6回 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議 宇治市不登校・ひきこもり支援連絡会議 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施 「宇治市ひきこもり相談窓口」相談員研修(個人情報保護に係る研修) 宇治市関係各課ひきこもり支援研修 宇治市不登校・ひきこもり支援研修</p>	<p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 ②相談当事者対象の居場所づくり:12回以上 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議:2回以上 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施:4回以上</p>	<p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 ②相談当事者対象の居場所づくり:12回以上 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議:2回以上 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施:4回以上</p>	<p>①ひきこもり相談窓口運営・相談支援 ②相談当事者対象の居場所づくり:12回以上 ③支援団体等のネットワークの構築のための連絡会議:2回以上 ④市民及び福祉関係者向け研修の実施:4回以上</p>					
◆2020年度(令和2年度)の評価								
評価	評価に対する説明							
A	令和2年度より実施された新事業ですが、相談窓口は求められており、多くの方に利用していただくことができました。今後は、支援団体とのネットワークの構築や研修の実施により、ひきこもりについての理解を深め、支援の向上に努めます。							

宇治市 長寿 生きがい課	<b>自</b> 高齢者虐待対策事業	近年深刻化する高齢者虐待に対して、被虐待者の生命・身体・精神的安全をはかるため、措置による身体の一時的確保及び施設入所を行う。対応マニュアルに沿って運用している。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	高齢者虐待受理件数 91件 うち虐待者からの分離が必要であると判断し、緊急措置を行った件数 3件	継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	通報により早急な対応が必要と判断したケースについては、緊急対応を実施している。また、対応マニュアルに沿って、定期的に虐待評価会議の中で、対応計画の立案、モニタリング、対応計画の評価を行っている。			
宇治市 教育支援課	<b>自</b> 不登校児童生徒自立支援 教室運営	不登校の児童・生徒に対して、社会的自立ができるように教室を開設し、小集団による援助・指導を行う。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	小学校3年生から中学校3年生までの不登校児童生徒に対して、個々の状況に応じて不登校児童生徒自立支援教室で受け入れ、学校、保護者、関係機関と連携を図り、社会的自立に向けて支援を行った。 在籍児童生徒数:30人(年度末) 改善状況:学校復帰3人 部分登校12人 好転15人 変化なし0人	継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	不登校児童生徒自立支援教室での支援・指導を通じ、不登校の児童・生徒の学校生活及び社会生活への復帰、社会的自立に向けての支援を行った。今後も学校及び関係機関との連携を強化し、効果的な運営に努める。			
宇治市 教育支援課	<b>自</b> 心と学びのパートナー派遣 事業	問題行動及び不登校の未然防止を図るため、生徒が身近に感じられる兄姉的な若い世代の相談員を配置し、いつでも気軽に相談できる環境をつくる。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	別室登校や不登校傾向の生徒の悩みに気軽に応じる相談員として、臨床心理を専攻する大学院生を中心とした「心と学びのパートナー」を6中学校に派遣した。 対応延べ人数 119人	継続実施 (京都府心の居場所 サポーター未配置 校に派遣する)	継続実施 (京都府心の居場所 サポーター未配置 校に派遣する)	継続実施 (京都府心の居場所 サポーター未配置 校に派遣する)
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
B	生徒が悩みを気軽に相談できる、若い世代の相談員を配置し、関係機関等と連携しながら問題行動及び不登校の未然防止を図った。今後も不登校対策事業全体の中で、体系的な事業効果の向上に努める必要がある。			
宇治市 教育支援課	<b>自</b> 不登校児童生徒支援事業	不登校の児童・生徒の支援や学校への助言・援助等を行うコーディネーター及び支援員等を配置し、学校におけるケース会議の支援や、家庭へのアウトリーチ等を通して、不登校児童生徒の社会的自立に向けた支援を行う。		
	◆成果・実績及び見込			
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	全小中学校への巡回訪問や、学校と共に不登校児童・生徒への支援に取り組む中で、教職員の不登校への理解が進んだ。また、福祉的な観点が必要なケースで協働することにより、福祉部局との連携が強化された。 39ケースを支援	継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価			
評価	評価に対する説明			
A	複雑な不登校問題に対し、児童・生徒や家庭への支援をコーディネーターを中心として行うとともに、福祉部局との連携を図る中で社会的な自立に向けて組織的に取り組んだ。引き続き教育と福祉の連携を深め、学校を取り巻く様々な福祉的課題の解決に努めるとともに、不登校児童生徒の社会的自立の支援に努める。			

3. ゆるやかな支え合い

大項目	(3) 地域の人と人をつなぐ場として、地域福祉のつどいや地域懇談会等の取り組みを支援します。
具体的な取り組み	29 活動を行っている人々が、地域福祉のつどいや地域懇談会において支援の事例や情報を共有することにより連携を強化できるよう支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	サロン連絡会の開催 (横島)	1町内1サロンの設立を目指し、新規サロン立ち上げ支援をはじめ、サロン報告会を通じ、プログラム内容の研修、サロン運営について情報交換を図る。

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	ボランティア活動センター登録サークル、個人交流会の開催 (令和2年度はコロナ禍のため中止)	ボランティア活動センター登録者による総合福祉会館の清掃活動、活動交流会を開催している。

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域福祉センター等での「地域福祉のつどい」・「コミュニティカフェ」の開催	多様な地域住民が集い、情報の発信や交流を恒常的に図る“場づくり”として、各地域福祉センター等を有効に活用し実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	宇治福祉まつりの開催 (令和2年度は中止)	市民参画による福祉まつり実行委員会を結成し、宇治のまちで未来をはぐくもうとしている各種団体の活動を広く市民にPRしながら、宇治のまちの歴史をつむぐ人たちが集い、交流する場として「宇治福祉まつり」を開催してきたが、令和2年度はきょうと地域福祉活動実践交流会と重なるため中止。また、あり方検討委員会を立ち上げて協議中。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	新春福祉のつどいの開催 (令和2年度はコロナ禍で中止)	年の初めにあたり、地域福祉に携わる関係者が一堂に会し、長年ご尽力いただいた皆様方のご労苦をたたえるとともに、新年を寿ぎながら懇親を深める。福祉の充実への確かな展望と、今後の活動の糧とするために開催しているが、令和2年度はコロナ禍で中止。表彰、感謝状のみ贈呈した。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	木幡地域懇談会	毎月18日にコラボプラザ「ふらっとこはた」のコアメンバー(7~8名)と市社協職員とで、住民向けの企画会議と地域の交流の場づくりの実現に向け懇談会を行った。(年間開催数:11回)

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 地域福祉課	<b>自</b> 地域福祉推進事業	宇治市地域福祉計画に基づき、福祉のまちづくりを進めるため、実施する各事業の進行管理を行う。また、住民主体の取組みを支援し、促進するために、出前講座を実施する。			
	◆成果・実績及び見込	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		第2期宇治市地域福祉計画の目的達成に向け、地域福祉推進委員会の議論を踏まえて計画に位置づけられた各事業の評価を行った。さらに、第3期宇治市地域福祉計画の策定に向けて、委員会を開催し、アンケート調査等について、議論を行った。 今後、社会福祉協議会が策定した地域福祉活動計画との連携を図ることが課題である。 ・地域福祉推進委員会3回	・第3期計画策定 ・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会 5回 ・出前講座 1回	・第3期計画進行管理 ・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会 2回 ・出前講座 1回	・第3期計画進行管理 ・いきいき福祉ふれあいのつどい(地域懇談会)実施 ・地域福祉推進委員会 2回 ・出前講座 1回
	◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明			
	<b>B</b>	第2期宇治市地域福祉計画についてこれまで行ってきた進行管理等を踏まえて、委員会での議論を行い、第3期宇治市地域福祉計画の策定に向けた検討ができた。 なお、出前講座については新型コロナウイルスの影響もあり、実施申し込みが0件であった。			

(3) 地域の人と人をつなぐ場として、地域福祉のつどいや地域懇談会等の取り組みを支援します。

具体的な 取り組み	30 地域懇談会におけるファシリテーター(進行促進役)である地域協働コーディネーターを地域福祉推進の中核を担う人材として位置づけて養成し、地域が地域懇談会に主体的に取り組む環境づくりを推進します。
--------------	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		—	—	—	—
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	—	—			

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

柱	<b>4. 多様な福祉サービスの創生と展開</b> 地域で支援を必要としている様々な立場の人のニーズを把握し、行政や事業者による適切な福祉サービスの提供を推進します。
---	--

大項目	(1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるよう支援します。
具体的な取り組み	31 事業者においては第三者評価や利用者アンケートを実施したり、また行政においては学習会等を通じて利用者と事業者の橋渡しを行う等、サービスの質の向上につながる取り組みを推進します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	第三者評価の受け入れによるサービスの質の向上	第三者評価の実施や利用者へのアンケート(サービス満足度調査)に取り組み、質の向上を図る。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	身体障がい者デイサービス事業の開催	身体に障がいのある方の社会参加の場として、コーラスや生け花など8つの教室を開催している。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	身体障がい者移動支援事業	車イス利用者が広く社会参加できるよう、ガイドヘルパーを派遣し、外出時の支援を行う。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込					
2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
—		—	—	—	
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

(1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるよう支援します。

具体的な取り組み	32 地域包括支援センターを中心に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できるような地域包括ケアの構築を進めます。
----------	---

## &lt;具体的な取り組みの実施状況&gt;

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域包括支援センター事業の推進	地域の総合相談窓口として、地域のネットワークづくりを目指すとともに、介護支援専門員への助言、支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメントに取り組む。 ①地域包括支援センターにおいて、成年後見制度等の権利擁護、介護を含む生活総合相談等に取り組み、地域の各種社会資源と連携を図る。 ②総合相談事業等を通じて、地域課題を掘り起こし、他の事業所とも連携し、その解決に向け取り組む。 ③各種講座・教室や「地域福祉のつどい」等地域行事に積極的に参加し、民生児童委員協議会、学区福祉委員会、喜老会、自治会等の意見交換の機会づくりに努める。
宇治市福祉サービス公社	地域支援事業推進のための体制整備事業	市の委託事業である「生活支援体制整備事業」推進のために、生活支援コーディネータを配置し介護予防、生活支援サービス事業の支援や、協議体の運営に社会福祉協議会とともに取り組む。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市長寿生きがい課	 地域包括支援センター運営事業	8つの日常生活圏域に設置している地域包括支援センターに、社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師等3職種の専門職を配置し、介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的マネジメントを実施する。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		3職種専門職 市内29人配置 相談実人数 3,489人 小地域包括ケア会議 年間11回開催	継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	国の方針に基づき日常生活圏域ごとに専門職を配置し、地域の中で高齢者の生活を支援することができた。効率的な業務及び適切な体制の整備等、地域包括ケアの推進と包括的支援事業の充実に向けて、今後も引き続き実施する。			

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

宇治市 長寿 生きがい課	<b>地域介護・福祉空間整備費補助金</b>	宇治市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、民間が行うサービス基盤整備を促進する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	本補助制度該当案件はなかった。		予定なし	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。				
宇治市 長寿 生きがい課	<b>在宅要援護高齢者対策事業</b>	一人暮らし高齢者やねたきり高齢者等の社会的孤立の防止と地域社会におけるサポート体制を整備するため、地域社会で安心して日常生活が送れるように、一人暮らし高齢者等訪問活動補助・老人福祉電話電話料助成事業等を実施する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人暮らし高齢者等訪問活動事業 訪問人数 1,669人</li> <li>福祉電話の基本通話料の助成 年度末助成対象者 44人</li> <li>家具等倒壊防止金具購入助成事業 助成件数 2件</li> </ul>		実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	計画的に事業を実施しており、次年度以降も継続して実施する。また、補助内容や助成額については継続して検討を行う。				
宇治市 長寿 生きがい課	<b>自 緊急通報装置(シルバーホンの設置)</b>	65歳以上の一人暮らしの高齢者等を対象に、急に身体の具合が悪くなったとき等に、ボタンを押すだけで消防本部と連絡が取れる緊急通報装置(シルバーホン)の貸与・設置を行う。また、機器についている相談ボタン(24時間365日受けることができる健康相談)や、月に一度受けられることのできる見守りコールにより、高齢者の健康維持や孤立防止を図る。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	新規設置見込数:123件		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	概ね計画通りであるが、補助内容や対象者については継続して検討を行う。				
宇治市 健康づくり 推進課	<b>在宅ねたきり者等訪問指導事業</b>	40歳以上の在宅寝たきり者及びその家族、虚弱高齢者等に対して訪問による保健指導や生活管理指導を行う。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	実人数:0人 延べ人数:0人		実人数:5人 延べ人数:15人	実人数:5人 延べ人数:15人	実人数:5人 延べ人数:15人
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
B	他制度(介護保険制度や障害福祉の制度等)の利用が優先されるが、制度と市民ニーズが合致しない人への受け皿として必要な事業である。他機関と連携しながら必要としている市民が利用できるよう取り組んでいく必要がある。				

(1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるよう支援します。

具体的な 取り組み	33 地域子育て支援拠点を中心に、子育て世代を支援し、子育てを楽しむことができるような環境づくりを推進し、子育てひろば等の取り組みを通じて、横のネットワークづくりを支援します。
--------------	--

## &lt;具体的な取り組みの実施状況&gt;

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	おしゃべりキャッチボール、赤ちゃんサロン、 赤ちゃん広場、赤ちゃんパークの開設	NPO法人「子育てを楽しむ会」と共催、あるいは委託して実施。仲間づくりを目的とし、参加者が地域や子育てに対する情報交換・課題共有を図り、一人で悩まず、いきいきと子育てに取り組めるようにするため、開設している。子育て中の親が孤立しないよう、参加者同士やスタッフとゆっくりと交流できる時間をつくる。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 こども福祉課	乳幼児健康支援一時預かり 事業	病気回復期等(病中を含む)で、集団保育が困難な状況にあり、かつ保護者の勤務等の都合により、家庭での保育が困難な児童に対して保育、看護を行う。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	実施施設 ・浅妻医院パピールーム(浅妻医院) ・宇治徳洲会病院ひまわりルーム(宇治徳洲会病院) 延べ利用人数 199人		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明			
評価	B 医療機関での病児保育を実施したことにより、児童の病気回復期等における保護者の就労を支援することができた。緊急時に対応する子育て支援施策として今後も国の制度改正に対応しつつ適正に実施する。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は大きく減少した。また、令和2年度から実施機関が減少しており、今後も引き続き新たな事業者の選定等に努める。				
宇治市 こども福祉課	こどもショートステイ事業	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上または環境上の理由により、家庭において児童を養育することが一時的に困難になった場合に、実施施設において、児童等の養育・保護を行う。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	実施施設 ・桃山学園(京都市伏見区) ・京都大和の家(精華町) 利用日数36日		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2018年度(平成30年度)の評価	評価に対する説明			
評価	A 児童の一時的な保護を行うことにより、保護者・児童への支援を図ることができた。年度により利用件数の増減はあるものの、セーフティネットとしての機能と役割があるため、制度の周知に努めながら、今後も引き続き実施する。				

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

宇治市 こども福祉課	<b>自 地域子育て支援拠点事業</b>	子育てを支援するため、地域子育て支援センター等において、情報提供や相談、サークル育成等を行うとともに、親子が気軽に集えるひろばを開設し、関係機関や団体とのネットワーク化を推進する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	子育てに関する相談・交流、情報交換など総合的な子育て支援を進め、子どもの健やかな育ちを促進できた。10か所目の拠点を開設した。子育てひろば:36,518人 相談件数:1,818人		継続実施	継続実施	継続実施
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		地域子育て支援基幹センター等において地域における子育ての交流等を目的として各種事業を実施したことにより、子育ての不安等の緩和を図り、子どもの健やかな育ちを促進することができた。令和元年10月に全10中学校区に1か所ずつの整備が完了するとともに、「げんきひろば」の事業委託を行った。今後も民間のノウハウを活用し、引き続き拠点機能の充実、子育て支援施策の推進に努める。			
宇治市 こども福祉課	<b>ファミリー・サポート・センター運営事業</b>	保育所の送迎等、市民による育児の援助を促進するため、ファミリー・サポート・センターを設置し、援助会員及び依頼会員の登録や利用調整等を行う。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	ファミリー・サポート・センターを運営し、対象を拡大するとともに地域における相互援助を支援した。 ・援助会員数:128人 ・依頼会員数:1,162人 ・両方会員数:15人 ・利用件数:1,456件		継続実施	継続実施	継続実施
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		市民で構成される会員組織を運営し、地域における相互援助活動を実施したことにより、安心して働くことのできる環境づくりを推進した。また、令和2年度からの事業委託に伴い、委託事業者と連携しながら利用促進に向けた取り組みを継続する必要がある。			
宇治市 こども福祉課	<b>子育て支援総合コーディネーター事業</b>	子育て家庭への支援の充実を図るため、「来庁者子育て支援コーナー」に子育て支援総合コーディネーター(専門相談員)と保育士を配置し、来庁者の子どもの一時預かり及び子育て支援全般に関する相談を実施する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	市役所1階市民交流ロビーにおいて、「来庁者子育て支援コーナー」を開設した。 利用人数 預かり 1,080人 相談 1,070人		継続実施	継続実施	継続実施
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		来庁者の子どもの一時預かり及び子ども・子育て支援新制度に基づいた利用者支援事業として子育て全般に関する相談を実施したことにより、子育て家庭への支援の充実を図ることができた。今後は利用状況の分析に努めながら、気軽に相談しやすい環境づくりを行うなど、事業展開について検討する。			
宇治市 こども福祉課	<b>子ども・子育て情報発信事業</b>	子育て世帯への情報発信の充実を図るため、子育て情報誌やSNS等の多様な媒体による子育て支援事業等の広報を実施する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	情報誌送付世帯数 6,032世帯 宇治市公式LINEにより子育て情報の発信		継続実施	継続実施	継続実施
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		宇治子育て情報誌を未就学児のいる全家庭に配布するとともに、LINEを活用した子育て情報の発信を行うことにより、子育て世帯に幅広く周知した。今後も利用状況及び子育て家庭のニーズ等をふまえ、より効果的な情報発信に向けて検討する。			

(1) 支援が必要な人に対して必要なサービスが円滑に提供できるよう支援します。

具体的な 取り組み	34 障害者生活支援センターや地域自立支援協議会等、障害者の相談体制の充実を支援します。
--------------	--

## &lt;具体的な取り組みの実施状況&gt;

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	障害者相談支援事業	障害者総合支援法に基づき、相談支援専門員が利用者に対して 住み慣れた居宅において可能な限りその有する能力に応じた日 常生活を営むことができるよう必要な支援を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	宇治市地域自立支援協議会 「こども」部会への参画	地域共生社会推進事業の関りの中で、こども部会に参画してい る。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 障害福祉課	障害者生活支援センター運営 事業	身体及び知的障害者等に対して、情報提供や相談、福祉サービス等の利用支 援などを行う拠点施設として、障害者生活支援センターを運営する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	宇治市障害者生活支援センター運営 1か所 障害児(者)地域療育支援センター運営 1か所		宇治市障害者生活 支援センター運営 1か所 障害児(者)地域療 育支援センター運 営 1か所	宇治市障害者生活 支援センター運営 1か所 障害児(者)地域療 育支援センター運 営 1か所	宇治市障害者生活 支援センター運営 1か所 障害児(者)地域療 育支援センター運 営 1か所
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	相談件数を順調に伸ばしており、今後とも事業の継続が必要である。				
宇治市 障害福祉課	地域自立支援協議会運営 委託事業	障害者が地域で自立した生活を営む上で生じる様々な課題を解決するため、 協議を行う地域自立支援協議会の運営を委託する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	相談支援事業所が集まる会議を月1回開催 専門部会も加わった会議を年1回開催 4つの専門部会も開催		相談支援事業所が 集まる会議を月1回 開催 議長・副議長・専門 部会の部会長が集 まる運営会議を年6 回開催	相談支援事業所が 集まる会議を月1回 開催 議長・副議長・専門 部会の部会長が集 まる運営会議を年6 回開催	相談支援事業所が 集まる会議を月1回 開催 議長・副議長・専門 部会の部会長が集 まる運営会議を年6 回開催
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	障害福祉分野における課題を細やかに検討している。市町村必須事業に位置づけられていることから今後 も事業の継続が必要である。				

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

宇治市 障害福祉課	<input type="checkbox"/> <b>障害者生活支援事業</b>		障害者等に対し、日常生活上必要な訓練・指導等、本人活動支援などを行うことにより、生活の質的向上を図り、社会復帰を促進する。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数26回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業延べ参加者数120名		・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数30回	・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数40回	・中途失明者点字講習会開催数48回 ・精神障害者社会復帰集団指導事業開催数40回
	◆2018年度(平成30年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
A	本事業が社会参加の場のひとつとして、他者との交流の場となっており、生活能力の向上にもつながるため、今後も事業を継続していく必要がある。				

大項目	(2) 地域の福祉サービス事業者との連携やNPO法人、市民活動団体への支援の取り組みを進めます。		
具体的な取り組み	35	保健・医療・福祉の横断的な連携を進めるため、福祉サービス公社をはじめとした福祉サービス事業者や専門機関、医療機関との意見交換、情報交換の場づくりを進めます。	

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	「認知症疾患医療連携協議会」への参画	認知症の方を地域で支えるために必要な住民福祉活動と専門機関との連携についてのあり方を検討するための、「認知症疾患医療連携協議会」に参画して、地域の側から認知症のサポートについて検討している。
宇治市社会福祉協議会	学区福祉委員会の小地域ネットワーク活動における民生児童委員との連携	福祉委員による見守り声かけ活動と、民生児童委員との連携による行政・専門機関との連携を図っている。
宇治市社会福祉協議会	福祉サービス公社や他法人との協働プロジェクトの実施 (令和2年度はコロナ禍で中止)	時代の変化に対応した取り組みを進めるために、どのような役割を地域に果たすのか、また創造していけるかを考えるため、福祉サービス公社や他法人との合同プロジェクト、勉強会を重ねてきた。令和2年度はコロナ禍で参集が困難のため中止。
宇治市社会福祉協議会	市内社会福祉法人との連携事業の検討	社会福祉法人改革において「地域の公益的な活動」が求められており、各社会福祉法人と連携した事業についての在り方を引き続き検討している。
宇治市社会福祉協議会	れもねいど推進協議会への参画	宇治市の「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けた、認知症アクションアライアンス「れもねいど推進協議会」に参画している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込					
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		—	—	—	—
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
—		—			

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

(2) 地域の福祉サービス事業者との連携やNPO法人、市民活動団体への支援の取り組みを進めます。

具体的な取り組み	36	既存の福祉サービスだけでは対応しきれない生活課題に対応するため、先駆的な活動を行うNPO法人や市民活動団体等の主体的な活動を支援します。
----------	----	--

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	地域支援活動等を目的としたNPO法人等の支援	地域で福祉活動に取り組んでいる団体への支援のため、「地域力助成事業」として (1)新規立ち上げ団体の助成 (2)既存団体の定着応援助成を行い、福祉に取り組む「地域力」の増大に寄与することを目的に、平成25年度から7年間で延19団体に支援した。助成事業は、令和元年度で終了し、今後は地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援の在り方等について検討する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	当事者団体への支援	ひきこもり青年の社会参加を応援する会(家族会)や宇治市連合母子会など、とくに当事者性の強い団体やグループに対し、運営相談を受けるとともに、各種団体との調整を図りながら就労支援や学習支援のサポートを行っている。その一環で、空き店舗の借り上げをおこなった。
宇治市社会福祉協議会	ボランティア活動センターへの運営支援	市民に対するボランティア活動の普及や活動者同士のつながりづくりに取り組んでいるボランティアセンターの各種事業に対して、調整・連絡・広報及び活動のための補助金交付等を通じての運営支援を行っている。
宇治市社会福祉協議会	民間助成の情報提供と応募支援	地域福祉活動の一助となるよう、宇治市内のNPO・ボランティアグループ・団体に、民間助成の情報提供や応募するためのアドバイス等を行っている。
宇治市社会福祉協議会	生活支援体制整備事業	宇治市よりの受託事業。地域における高齢者の生活支援体制の整備を推進するため生活支援コーディネーター業務ならびに協議体の設置を行っている。令和2年度は木幡北畠地域、槇島学区内、槇島紫ヶ丘地域の取組みにかかわった。
宇治市社会福祉協議会	宇治市福祉未来基金地域共生社会推進事業の実施	ひきこもり当事者やその家族、支援団体等からのヒアリング等を通じて、現状を把握するとともに、宇治市福祉未来基金を活用して、子どもの貧困、ひきこもり、地域福祉活動の担い手確保を目的とした事業に対して、公募による助成事業を実施している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 長寿 生きがい課	認知症の人にやさしい まち・うじ推進事業	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現のために、認知症を「自分のこと」と捉え、市民一人ひとりが認知症を正しく理解し、やさしいまちづくりを目指して自分のできる行動を起こしていく「宇治市認知症アクションアライアンス」通称“れもねいど”活動を広める。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		れもねいど新規加盟企業 8団体(累計72団体) れもねいだー(ボランティア)新規登録者数 6人(累計128人) れもねいど推進協議会 年4回 認知症フォーラムin宇治 参加者数 130人 SOSネットワーク事前登録者(新規) 89人	れもねいど新規加盟企業 10団体 れもねいだー(ボランティア)新規登録者数 20人 れもねいど推進協議会 年4回 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人	れもねいど新規加盟企業 10団体 れもねいだー(ボランティア)新規登録者数 20人 れもねいど推進協議会 年4回 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人	れもねいど新規加盟企業 10団体 れもねいだー(ボランティア)新規登録者数 20人 れもねいど推進協議会 年4回 認知症フォーラムin宇治 参加者数 250人
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	A	「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向け、全国に先駆けて一般企業や団体との連携を通じた施策を実施したことにより、認知症の正しい理解の普及・啓発に努めることができた。また、認知症当事者から直接意見を聞きながら事業を推進している。今後も「認知症の人にやさしいまち・うじ」の推進に向け、引き続き実施する。			
宇治市 長寿 生きがい課	生活支援体制整備事業	支援を必要とする高齢者に対し、多様な生活支援を提供するための基盤整備を実施する。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		前年度に引き続き、少子高齢化に伴う担い手不足に対応するため、担い手養成を実施し、多様なサービスへのマッチングなどを実施。また、多様な関係者間による地域の支え合い仕組みづくり会議を市全域及び地域に設置し、地域づくりに向けて情報共有・意見交換を行った。	実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
	B	ボランティアの後継者確保や新たなボランティアの育成方法等、検討が必要である。また、地域づくりに向けて、地域住民への意識の醸成をさらに推進する必要がある。			

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

大項目	(3) 地域での生活不安や困難に対応するセーフティネットとなる施策や活動を推進します。
具体的な取り組み	37 失業者や生活困難世帯に対する貸付事業を通じて生活不安の解消を支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	生活福祉資金の貸付	府社協からの委託事業として、所得が少ない世帯、障がい者、療養や介護を必要とする高齢者がいる世帯を対象に安定した生活を送れるよう、必要な相談支援を行い各種の資金貸付を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響により減収、失業した世帯に緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を行っている。
宇治市社会福祉協議会	不動産担保型生活資金の貸付	府社協の委託事業として、現在、暮らしている自己所有の不動産(土地・家屋)に、今後も将来にわたって住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、その不動産を担保として生活資金の貸付を行っている。
宇治市社会福祉協議会	くらしの資金の貸付	宇治市よりの受託事業。生活困窮世帯に対し、経済的自立と生活意欲の向上を図ることを目的として、夏期(7月)及び冬期(12月)の2回、100,000円を限度としてくらしに必要な資金貸付を行っている。
宇治市社会福祉協議会	学習支援事業～うじピヨンの学び舎～	宇治市よりの受託事業。宇治市が適当と認めた中学生を対象に、原則週二回二時間、長期休みには週三回の学習支援を実施している。学習支援員には将来像のモデル的な存在として主に大学生に協力してもらっている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 地域福祉課	くらしの資金貸付事業	生活保護(生活扶助)基準の1.8倍以下の収入世帯に対し、その経済的安定と生活意欲の向上に資するため、世帯あたり100,000円を上限に、最長20カ月の償還期間で生活資金の貸付を行う。 (福)宇治市社会福祉協議会に事務を委託し、年2回(夏期・冬期)の受付期間を設ける。			
		◆成果・実績及び見込			
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	貸付実績 夏期貸付:1,400,000円(14件) 冬期貸付:2,250,000円(23件)		【夏期貸付】 7月1日～8月2日受付 1,500,000円(15件) 【冬期貸付】 12月1日～12月15日受付	【夏期貸付】 7月1日～7月15日受付 【冬期貸付】 12月1日～12月15日受付	【夏期貸付】 7月1日～7月15日受付 【冬期貸付】 12月1日～12月15日受付
		◆2020年度(令和2年度)の評価			
	評価	評価に対する説明			
	B	低所得者等の生活意欲の向上と自立助成を図り、一定の効果は上がっていると考え、経済状況の変化や他の福祉制度の変更を受け、貸付の要件など、制度の見直しが必要であると考え。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で貸付件数が増加した。また、償還率向上のため、業務を委託している宇治市社会福祉協議会と連携した対応が必要である。			

宇治市 こども福祉課	<b>ひとり親家庭等福祉生活資金 貸付金</b>		緊急に生活費等が必要となったひとり親家庭に対し、無利子で生活資金を貸し付けている。貸付限度額:50,000円以内		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	貸付件数 0件		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
<b>B</b>	必要な方が利用できるよう、制度を今後も周知していく必要があるが、利用は少ないため、制度のあり方を検討する必要がある。				

4. 多様な福祉サービスの創生と展開

(3) 地域での生活不安や困難に対応するセーフティネットとなる施策や活動を推進します。

具体的な取り組み	38 失業者や障害者の就労機会や雇用の確保に向けた取り組みを推進します。
----------	--------------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市産業振興課	<b>自 宇治労政ニュース発行事業</b>	労働情勢に関する情報や勤労者を対象にした情報を広く提供するため、「宇治労政ニュース」を作成する。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		年3回発行して希望者へ紙面配布をし、主に市のホームページへの掲載、メール配信による情報提供に努め、労働情勢に関する情報を周知した。	希望者へ紙面配布をし、主に市のホームページに掲載、メール配信による情報提供に努める。	希望者へ紙面配布をし、主に市のホームページに掲載、メール配信による情報提供に努める。	希望者へ紙面配布をし、主に市のホームページに掲載、メール配信による情報提供に努める。
◆2020年度(令和2年度)の評価					
	評価	評価に対する説明			
	B	HP掲載やメール配信により、労働情勢等に関する情報について、時期に応じた情報を伝達することができているが、より効果的な周知方法について検討する必要がある。			
宇治市産業振興課	<b>城南地域職業訓練協会運営補助事業</b>	技能労働者の養成と在職労働者の職業能力の向上を図るため、職業訓練法人城南地域職業訓練協会が実施する職業訓練事業に対して補助する。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		近隣市町と協調して運営補助金を交付した。求職者及び在職者に対し、パソコン・ビジネス英会話・簿記講座等を実施した。32講座開講し、160人が受講した。	近隣市町と協調して運営補助金を交付する。	近隣市町と協調して運営補助金を交付する。	近隣市町と協調して運営補助金を交付する。
◆2020年度(令和2年度)の評価					
	評価	評価に対する説明			
	B	概ね計画どおりに事業が実施され、受講者の職業能力向上に役立っている。新たにIoT講座を開催するなどした結果、コロナ禍ではあったが、前年度と同じ受講数を保つことができた。今後もニーズにあった講座の設定や、受講者の増加のため広報方法について検討を続けてもらう必要がある。			

宇治市 産業振興課	<b>緊急雇用対策事業</b>		国が創設した「地域人づくり事業」に基づき京都府緊急雇用対策基金を活用した事業を実施し、雇用拡大・処遇改善を図る。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	令和2年度は未実施。		未定	未定	未定
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
D	一時休止。国・府制度等と合わせて実施。				
宇治市 こども福祉課	<b>自 ひとり親家庭自立支援 給付事業</b>		ひとり親家庭の就業をより効果的に促進するため、資格取得のための費用等の一部を給付金として支給する。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	高等職業訓練促進給付金 訓練促進給付金 15件 高等職業訓練促進給付金 修了支援給付金 5件 自立支援教育訓練給付金 10件 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 0件		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	就職に有利な資格取得のために養成機関等で講座を受講したひとり親家庭の親に給付金を支給し、修業中の経済的な負担を軽減することができた。また母子・父子自立支援員が修業状況を確認し相談に応じるなど資格の取得を支援することで、ひとり親家庭の自立促進できた。一方で、本事業は自立支援員による相談・支援によるところが大きいいため、自立支援員の配置拡充に努めたい。				

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

柱	<b>5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供</b> 地域で支援を必要としている人からのSOSを見逃さず、必要な情報や適切な福祉サービスの利用につなげていく人とひととのネットワークづくり(小地域ネットワーク活動)を支援し、きめ細やかな相談体制の構築を推進します。
---	---

大項目	(1) 困ったときに気軽に相談できるしくみづくりを推進します。
-----	---------------------------------

具体的な取り組み	39 分野別の相談窓口だけでなく、総合的な相談窓口の充実を図ります。
----------	------------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	福祉なんでも相談の開催	社協職員による、福祉に関するサービスや制度、その実施機関や相談先の紹介等を行っている。
宇治市社会福祉協議会	弁護士による法律相談	弁護士による法律相談を開催している。 (週1回 定員1日8名 一人20分)
宇治市社会福祉協議会	司法書士による登記相談	司法書士による登記相談を開催している。 (月3回 定員1日5名 一人30分)
宇治市社会福祉協議会	司法書士による多重債務相談	司法書士による多重債務相談を開催している。 (月1回 定員1日9名 一人1時間)
宇治市社会福祉協議会	司法書士による成年後見相談	司法書士による成年後見相談を開催している。 (多重債務相談と合わせて定員1日9名 一人1時間)
宇治市社会福祉協議会	社会保険労務士による年金・社会保険相談	社会保険労務士による年金・社会保険相談を開催している。 (月1回 定員なし)

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 生活支援課	<input checked="" type="checkbox"/> <b>生活困窮者に係る自立支援</b>	生活困窮者が抱える問題について、相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行うとともに、様々な支援を一体的・計画的に行う。			
◆成果・実績及び見込					
2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
①自立相談支援事業…新規相談1334件、のべ2122件の相談を受け付けた。 ②住居確保給付金の支給…支給対象者200名に対し合計56,039,000円を支給した。 ③就労準備支援事業…生活困窮者3名、生活保護受給者15名に対し、当事者支援及び家族相談を行い、就労トレーニングへの通所等に繋げた。 ④一時生活支援事業…対象者16名に対し、のべ238日間の食・住の提供を行った。 ⑤学習支援事業…8月から2か所目を開設し、合わせて27名に対し事業を実施した。 ⑥家計改善支援事業…生活困窮者21名、生活保護受給者6名に対し、家計管理の力を高めていく支援を行った。		①継続して相談事業を実施。 ②継続して給付金の支給を実施。 ③事業を委託して実施。 ④継続して事業を実施。 ⑤継続して事業を実施。 ⑥継続して事業を実施。	①継続して相談事業を実施。 ②継続して給付金の支給を実施。 ③事業を委託して実施。 ④継続して事業を実施。 ⑤継続して事業を実施。 ⑥継続して事業を実施。	①継続して相談事業を実施。 ②継続して給付金の支給を実施。 ③事業を委託して実施。 ④継続して事業を実施。 ⑤継続して事業を実施。 ⑥継続して事業を実施。	
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、住居確保給付金の支給や社会福祉協議会と連携した自立相談支援に取り組むことができた。引き続き、様々な課題を抱える生活困窮者に制度の周知を図り、生活困窮者に支援が届くよう、庁内関係各課、庁外関係機関、民間団体等と連携を図っていく。			
宇治市 保健推進課	<input checked="" type="checkbox"/> <b>乳児家庭全戸訪問事業</b>	生後4ヶ月までの乳児のいる全ての家庭を訪問することにより、子育てに関する情報の提供並びに乳児及びその保護者の心身の状況や養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他援助を行う。			
◆成果・実績及び見込					
2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
親の育児不安の軽減と、子育て支援に関する必要な情報提供を行い、支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供を実施した。  訪問件数 339件		継続実施	継続実施	継続実施	
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
B		訪問により子育ての孤立化を防ぐとともに、親子の心身の状況や養育環境等の把握、子育て支援に関する情報提供を行い、支援が必要な家庭に対して適切なサービスにつなげることができた。			
宇治市 長寿 生きがい課	<input checked="" type="checkbox"/> <b>家族介護者支援事業</b>	要介護の高齢者等を介護する家族を支援するため、以下の事業を行う。 ①紙おむつ等給付事業:要介護4・5の在宅高齢者等の紙おむつ等を給付する。(月額購入費の2分の1相当の額の紙おむつ等5,000円上限、市民税非課税世帯) ②リフレッシュ事業:介護者のリフレッシュを目的に交流会やレクリエーションを企画する。 ③介護知識・技術習得教室:介護者の心身の負担を軽減するため、適切な介護知識・技術習得のための教室を開催する。 ④家族介護慰労事業:要介護4・5の市民税非課税世帯の高齢者を1年間介護サービスを利用せずに介護している家族に慰労金を支給する。 ⑤認知症高齢者等安心見守りGPS貸与事業:行方不明になるおそれがあると認められる高齢者またはその家族等にGPS機能を備えた機器を貸与する。 ⑥SOSネットワークの事前登録を行い、行方不明者を早期発見できる体制につとめる。			
◆成果・実績及び見込					
2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
②リフレッシュ事業:参加人数のべ34人 ③介護知識・技術習得教室:参加人数のべ62人		実施	実施	実施	
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明			
A		計画通りに事業を実施しており、今後も継続していく。介護知識・技術習得教室については、参加者数の拡大のため、内容・広報等の見直しも検討する。			

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

宇治市 教育支援課	ふれあい教育相談 (前)青少年電話相談活動事業		宇治青少年こころの電話相談事業をリニューアルし、市民ボランティア相談員が電話で小・中学生とその保護者などの相談に応じるほか、必要に応じて関係機関と連携する。また、相談専用アドレスからEメールによる相談青少年問題に係る相談を受ける。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	平日の午後1時から午後5時まで2交代制で相談を実施した。また、「宇治市の教育だより」(年3回発行)に掲載し、対象となる小・中学生のご家庭に周知したほか、チラシの配布や市ホームページへの掲載など広報に努めた。 相談件数 電話15件(うち対象2件)、Eメール2件		継続実施	継続実施	継続実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
B	対象を小中学生とその保護者に絞った結果、相談件数が激減した。PRIに努めるとともに、青少年世代の悩みを受け止める手法として適切か検証する必要がある。				

(1) 困ったときに気軽に相談できるしくみづくりを推進します。

具体的な取り組み	40 民生児童委員による、身近な地域での相談活動の充実を支援します。
----------	------------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 地域福祉課	民生児童委員活動助成事業	民生児童委員に対し、活動助成金を支出し、民生委員活動の充実に役立出てもらう。基本的には京都府を通じて支出される国からの補助金と併せながら、民生児童委員の人数分の「民生児童委員活動費補助金」と、各地区会長・副会長の活動に対する補助である「会長活動補助金」と、地区民児協当たりに助成する「地域福祉活動促進費」の3種類から成る助成を行う。			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		民生児童委員活動費補助金 (市・府)60,200円*311人*2-欠員分=36,441,066 会長活動費補助金 (府)11,920円*15人+(市)80円*15人+12,000円*15人=360,000 地域福祉活動促進費 (府)平均145,246円*15地区+(市)15,000円*15地区=2,178,700	民生児童委員活動費補助金 @60,200円*311人 会長活動費補助金 15地区*2人 地域福祉活動促進費 15地区	民生児童委員活動費補助金 @60,200円*311人 会長活動費補助金 15地区*2人 地域福祉活動促進費 15地区	民生児童委員活動費補助金 @60,200円*311人 会長活動費補助金 15地区*2人 地域福祉活動促進費 15地区
		◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明		
	B	民生児童委員の活動充実を推し進めることができた。なお、欠員が発生していることもあり、民生児童委員一人当たりの負担軽減に向けて検討が必要。また、令和4年度の任期満了に伴う一斉改選に合わせて、地区の整理についても検討していく。			

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

(1) 困ったときに気軽に相談できるしくみづくりを推進します。

具体的な取り組み	41 市社協が実施する、ふれあい福祉センター相談事業を引き続き支援します。
----------	---------------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	ふれあい福祉センター(相談事業)の開設	市民のさまざまな困りごと悩みごとを、気軽に持ち込める相談窓口として、「ふれあい福祉センター」を設置し一人ひとりが自分の悩みを解決できるよう、社協職員による「福祉なんでも相談」の他、「弁護士による法律相談」「司法書士による登記・多重債務・成年後見相談」・「社会保険労務士による年金・社会保険相談」の時間を設けている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
◆成果・実績及び見込					
2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
—		—	—	—	
◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価	評価に対する説明				
—	—				

(1) 困ったときに気軽に相談できるしくみづくりを推進します。

具体的な 取り組み	42	地域で支援を必要としている人を行政や福祉サービス事業者、場合によっては弁護士・司法書士・社会福祉士や医療関係等の専門分野につなぐ横断的なネットワークづくりを推進します。
--------------	----	--

## &lt;具体的な取り組みの実施状況&gt;

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	地域包括ケア会議、小地域包括ケア 会議への参画	長寿生きがい課を中心とした地域包括ケア会議への参画と、各 地域包括支援センターが主催している小地域包括ケア会議へ参 画している。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込				
		2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		—	—	—	—
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
		評価	評価に対する説明		
	—	—			

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

大項目	(2) 福祉サービスの利用支援をはじめとした自立支援の取り組みを推進します。
具体的な取り組み	43 成年後見制度助成事業や日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)、コンタクトパーソン事業等、権利擁護の取り組みを積極的に広報し、利用者に対するきめ細やかな取り組みを支援します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	福祉サービス利用援助(日常生活自立支援事業)	福祉サービスの利用方法や日常生活上の手続きの援助、金銭管理などを行うことが一人では不安な高齢者・知的、精神障がいのある方に生活支援員が定期的に訪問し援助を行う。
宇治市社会福祉協議会	地域生活支援サポーター講座の開催(福祉サービス利用援助事業関連講座)	高齢者や障がい者の地域生活への理解者を増やし、福祉サービス利用援助事業に携わる「生活支援員」の確保を目的に、府内南部市町社協合同による各種講座を開催している。

実施主体・担当課	事業	事業概要	
宇治市 障害福祉課	<b>目</b> 地域活動支援センター等事業 <b>◆成果・実績及び見込</b> 2020年度成果・実績(令和2年度) 地域活動支援センター利用実績 4か所延べ人数653名	地域活動支援センターにおいて、創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等、障害者が自立した日常生活及び社会生活を営むために必要な支援を行う。 2021年度見込(令和3年度) 地域活動支援センター利用見込 4か所延べ人数800名 2022年度見込(令和4年度) 地域活動支援センター利用見込 4か所延べ人数800名 2023年度見込(令和5年度) 地域活動支援センター利用見込 4か所延べ人数800名	
	<b>◆2020年度(令和2年度)の評価</b> 評価	評価に対する説明 A 創作的活動又は生産活動の機会を提供し、社会との交流の促進等の場を設定できた。他のサービスにはない性質のものであるため、今後も事業の継続が必要である。	
	宇治市 障害福祉課	障害者成年後見制度利用支援事業 <b>◆成果・実績及び見込</b> 2020年度成果・実績(令和2年度) 市長申し立て:1件 後見人等への報酬助成:23件	判断能力が不十分な精神障害者及び知的障害者のうち近親者がいないなど、当事者による成年後見人の申立期待できない状況にある者について、審判の請求手続きの代行を行うとともに低所得者については後見人の報酬等を市が助成する。 2021年度見込(令和3年度) 市長申し立て:2件 後見人等への報酬助成:26件 2022年度見込(令和4年度) 市長申し立て:2件 後見人等への報酬助成:28件 2023年度見込(令和5年度) 市長申し立て:2件 後見人等への報酬助成:30件
	<b>◆2020年度(令和2年度)の評価</b> 評価	評価に対する説明 A 当事業は、本人と家族の同意が必須であり、制度への理解に時間がかかるため、著しい増加は見込めないものの、相談は増えており需要は高い。家族支援がない障害者が増加する中、本事業の周知徹底が課題となっている。	

宇治市 長寿 生きがい課	<b>高齢者成年後見制度助成事業</b>	判断能力が不十分な認知症高齢者等のうち、身寄りがないなど当事者による成年後見人の申立が期待できない状況にある者について、成年後見制度の利用を確保するため、審判の請求手続きの代行を行うとともに、生活保護受給者については申立費用及び後見人の報酬を市が助成する。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	申立件数 7件 報酬助成件数 68件		実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	制度の利用が必要な高齢者に対して、成年後見等の市長申立及び報酬の助成を行った。				
宇治市 長寿 生きがい課	<b>権利擁護事業</b>	介護保険サービスをはじめ、高齢者保健福祉サービスに関する利用者保護を推進するため、弁護士などによる福祉オンブズマン制度を設ける。			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	申立件数 0件		実施	実施	実施
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	計画的に事業を実施しており、現状のまま事業を継続する。				

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

大項目	(3) より効果的な広報・情報提供のあり方を検討します。
具体的な取り組み	44 市政だより・ホームページ、情報誌の発行や掲示板の設置等、より分かりやすく正確に伝わる情報の発信を推進します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	ホームページや広報誌による福祉関連情報・介護予防関連情報の発信	ホームページやブログ、SNSをはじめ、広報誌「ぼっぼ」を通じて福祉関連情報・介護予防関連情報の発信を行う。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	「社協だより」の発行	市社協の各種事業をはじめ、市民に役立つ情報を社協だより(年3回)提供し、社協活動のPRおよび市民への福祉活動への理解促進を図っている。特にコロナ禍を意識して紙面を構成。
宇治市社会福祉協議会	社協ホームページの運営	宇治市社協や各種情報を気軽に知ってもらうため、ホームページを設置している。広報紙の発行ではタイムラグが生じてしまう情報を発信するツールとしても活用している。
宇治市社会福祉協議会	うじピョン公式twitterの活用	宇治市社協の「今」や各種情報をタイムリーに発信するとともに、素早く情報集約ができるという利点を生かし、twitterを活用した広報活動を行っている。
宇治市社会福祉協議会	0123さい宇治子育て情報誌発行への協力	地域子育て支援基幹センター、市社協、NPOなどが協働して、子育てに関するあらゆる情報を掲載した冊子を作成し、乳幼児を中心とした子育て中の方々に普及する。
宇治市社会福祉協議会	地元紙への地域活動記事の定例掲載	地元新聞の協力を得て、毎月末に「うじピョンの〇〇な話」という記事を掲載。福祉の催し、ボランティア活動情報や活動を通じたエピソードなどを掲載して、活動等への参加につながるきっかけづくりを行っている。
宇治市社会福祉協議会	子育て世代向けInstagramの開設	子育て世代に向けた、Instagramでの情報発信を行っている。

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 秘書広報課	宇治市ホームページの運営	令和2年3月に市ホームページのリニューアルを実施し、既存のページの整理を行い、新たに市の魅力を発進するサイト等を作成するとともに、公共のホームページに求められる、高齢者や障害のある人にも使いやすく、見やすいホームページとなるように、JIS規格に準拠し、ユーザビリティ、アクセシビリティの向上を図った。			
	◆成果・実績及び見込み				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	アライド・ブレインズ(株)が自治体のホームページの閲覧のしやすさをランクづけした調査結果によると、色覚障害者や視覚障害者、高齢者にとっても市のホームページの閲覧がしやすいかどうかの評価が、CMSを導入した22年度以降は継続的にD評価の評価を受けている。(リニューアル後も同様)		継続	継続	継続
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
A	現状の運用を継続する。				

宇治市 介護保険課	介護保険制度出張講座		介護保険制度は、介護を必要とする人を社会全体で支える仕組みであり、市民が制度を理解し、適切なサービスを利用できるように、当制度の周知を図り、利用者の利便性に処するため、第2期介護保険事業計画から位置づけて、事業を実施している。		
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、申し込みが減少し、開催は1回のみであった。		10件	10件	10件
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
	評価	評価に対する説明			
B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催回数が減少し、予定していた10回に満たなかった。今後は感染症対策を行いながら事業を実施する手法を検討する必要がある。				

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

(3)より効果的な広報・情報提供のあり方を検討します。

具体的な 取り組み	45 福祉サービス事業者等からの恒常的な情報の発信を支援します。
--------------	----------------------------------

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉 委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治 ボランティア 活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉 サービス公社	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会 福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市	—	—			
	◆成果・実績及び見込				
	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	—	—	—	—	
	◆2020年度(令和2年度)の評価				
評価	評価に対する説明				
—	—				

大項目	(4) 利用者の満足度を高める取り組みを推進します。
具体的な取り組み	46 苦情対応・オンブズマン制度等の利用促進を図り、事業者等への助言・指導・研修等の取り組みを推進します。

<具体的な取り組みの実施状況>

実施主体	事業	事業概要
学区福祉委員会	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治ボランティア活動センター	—	—

実施主体	事業	事業概要
宇治市福祉サービス公社	福祉サービス事業者の質の向上に努め、在宅介護の積極的事業展開を図る	公社の役割を踏まえつつ、社内の研修充実によるサービス向上をはじめ、福祉人材研修や介護技術習得研修の実施、介護実習の開放等、広く市内他事業所にも呼びかけ、サービスの質の向上に努める。
宇治市福祉サービス公社	介護予防関連研修事業	介護予防関連研修を実施する。

実施主体	事業	事業概要
宇治市社会福祉協議会	—	—

実施主体・担当課	事業	事業概要			
宇治市 介護保険課	介護相談員派遣事業	申し出のあったサービス事業者等に相談員の派遣を行うことにより、利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに、相談等を通してサービスの現状を把握し、派遣先事業者の介護サービスの質の向上を図る。また、苦情に至る事態を未然に防止することや、利用者や家族の日常的な不満・疑問に対応して改善を図る事前的な対応を行う。			
	◆成果・実績及び見込	2020年度成果・実績 (令和2年度)	2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)
		特別養護老人ホーム8ヶ所、介護老人保健施設3ヶ所、地域密着型特養1ヶ所、グループホーム18ヶ所に派遣	特別養護老人ホーム8ヶ所、介護老人保健施設3ヶ所、地域密着型特養1ヶ所、グループホーム18ヶ所に派遣	特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームを中心に派遣	特別養護老人ホーム、老人保健施設、グループホームを中心に派遣
	◆2020年度(令和2年度)の評価	評価に対する説明			
	評価	B			新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業所への訪問に替えて、文書やオンラインでの活動を行った。今後も感染症対策を行いつつ、事業を効果的に実施する手法を検討する必要がある。

5. 安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供

宇治市 介護保険課	<b>福祉人材研修事業</b>		介護保険制度創設後、要介護・要支援認定者数及び介護サービス利用者数は年々増加しており、介護サービスの質の向上・確保が課題となっている。ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員を対象にサービスの質の向上・確保を目的とした研修を行い、介護サービス事業者が利用者の自立支援につながる質の高いサービスを提供できる環境を整備する。			
	◆成果・実績及び見込					
	2020年度成果・実績 (令和2年度)		2021年度見込 (令和3年度)	2022年度見込 (令和4年度)	2023年度見込 (令和5年度)	
	ケアマネジャー向けの研修を3回、介護サービス事業所職員向けの研修を7回実施。		ケアマネジャー向けの研修を4回、介護サービス事業所職員向けの研修を6回実施。	引き続き、実施	引き続き、実施	
	◆2020年度(令和2年度)の評価					
評価		評価に対する説明				
A		ケアマネジャー及び介護サービス事業所職員の資質向上、スキルアップに寄与しており、一定の成果が出ている。今後も介護サービスの質の向上・確保に繋がるようニーズや課題を的確に捉え、研修を実施する。				

